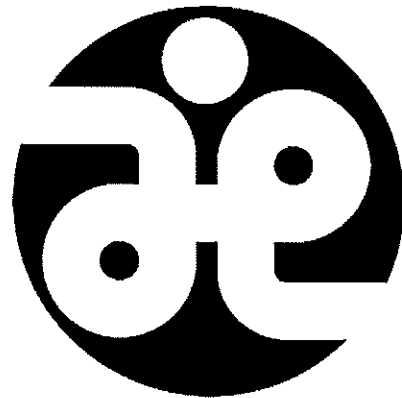


令和3年度

事業報告書



社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

# 目次

序 文	.....	1
総務課・福祉センター	.....	2
地域福祉課	.....	15
相談支援課	.....	48
在宅福祉課	.....	57

# 令和3年度 東近江市社会福祉協議会事業報告

つながりと地域愛でつくる **ふ**だんの **く**らしの **し**あわせ

令和3年度もコロナ禍の1年ではありましたが、本会の目標である誰もが安心して暮らせる地域福祉の推進に取り組むことを基本方針として、最終年度である「第2次地域福祉活動計画」に掲げる6つの目標達成のため各事業を実施してまいりました。

まず、引き続き新型コロナによる生活困窮者支援として生活福祉資金特例貸付による支援を行い、各種相談事業や、介護事業をはじめ、サマーホリデー事業、子どもの学習・生活支援事業、また、サロンの実施困難な場合の共同募金によるサロン代替活動助成事業の他、民間財源である休眠預金助成事業を活用した小規模介護事業所支援等、地域における福祉活動が停滞しないよう、アイデアを出し合い、創意・工夫をしながら事業を実施してまいりました。

また、経営改善については、3年計画で進めてきた介護事業改善計画に取り組みましたが、結果として「ハートピア」と「じゅぴあ」の2つのデイサービスセンターを、令和3年度末をもって閉鎖することを決断いたしました。令和4年度介護事業は、新たに高齢化社会に向け介護予防事業に取り組み、新体制になり今まで以上に地域福祉貢献に努力し、引き続き経営状況を常に把握するとともに、健全経営を維持できるよう努めます。

なお、令和4年度から5年間の基本計画である「第3次地域福祉活動計画」を策定により、さらに地域福祉活動が前進するよう、全職員一丸となって取り組んでまいります。

今後も地域住民に最も身近で、信頼される組織としての自覚と責任を持ち、健全経営を目指し、市民の皆様とともに、本市に住む全ての人々が、“共に生き、安心して暮らせる福祉のまちづくり”が実現できますよう、市民の皆様にしっかり寄り添い安心して生き生きと暮らせる社会づくりに努めてまいります。

## 1. 民間法人として、独自性に採算性を兼ね併せた法人経営

(1) 経営組織のガバナンスと財政規律を強化し、役職員が一体となって組織・経営改善を行うとともに、経営計画やロードマップによる、計画的な事業執行と改革に取り組みました。

### ◇正副会長会議（三役会）の開催

	期 日	審 議 事 項
第1回	令和3年6月4日	理事会・評議員会提案事項について
第2回	令和3年9月3日	理事会・評議員会提案事項について
第3回	令和3年12月2日	理事会・評議員会提案事項について
第4回	令和4年3月3日	理事会・評議員会提案事項について

### ◇理事会・評議員会の開催

	期 日	審 議 事 項
第1回 理事会	令和3年6月8日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告について</li> <li>・令和2年度一般会計決算について</li> <li>・令和3年度補正予算(第2号)について</li> <li>・評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正について</li> <li>・評議員選任・解任委員任期満了に伴う新委員の選任について</li> <li>・理事・監事任期満了に伴う新理事・監事候補者の推薦について</li> <li>・評議員任期満了に伴う新評議員候補者の推薦について</li> <li>・評議員選任・解任委員会の招集並びに提案事項について</li> <li>・第1回評議員会の招集並びに提案事項について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度補正予算(第7号)の専決処分について</li> <li>・令和3年度補正予算(第1号)の専決処分について</li> </ul>
第2回 理事会	令和3年6月25日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長・副会長及び常務理事の選定について</li> </ul>
第3回 理事会	令和3年9月 (書面決議)	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度補正予算(第3号)について</li> <li>・第三者委員会委嘱に関し理事会の同意を求めることについて</li> <li>・第2回評議員会の招集並びに提案事項について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告(4~6月)について</li> <li>・東近江市法人指導監査の報告について</li> </ul>

第4回 理事会	令和3年12月6日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度補正予算(第4号)について</li> <li>・第3回評議員会の招集並びに提案事項について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告(7~9月)について</li> </ul>
第5回 理事会	令和4年3月10日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款の一部変更について</li> <li>・事務局及び職員に関する規程の一部改正について</li> <li>・経理規程の一部改正について</li> <li>・育児・介護休業及び育児・介護短時間勤務に関する規則の一部改正について</li> <li>・給与規程の一部改正について</li> <li>・令和3年度補正予算(第5号)について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度一般会計予算について</li> <li>・役員等賠償責任保険契約の締結について</li> <li>・第4回評議員会の招集並びに提案事項について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告(10~12月)について</li> </ul>
第1回 評議員会	令和3年6月24日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告について</li> <li>・令和2年度一般会計決算について</li> <li>・令和3年度補正予算(第2号)について</li> <li>・理事・監事任期満了に伴う新理事・監事の選任について</li> </ul> <p>《報告》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度補正予算(第7号)の専決処分について</li> <li>・令和3年度補正予算(第1号)の専決処分について</li> <li>・評議員選任・解任委員任期満了に伴う新委員の選任について</li> </ul>
第2回 評議員会	令和3年9月 (書面決議)	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度補正予算(第3号)について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告(4~6月)について</li> <li>・第三者委員会の選任について</li> </ul>
第3回 評議員会	令和3年12月21日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度補正予算(第4号)について</li> </ul> <p>《報告事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業報告(7~9月)について</li> </ul>
第4回 評議員会	令和4年3月28日	<p>《議事》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定款の一部変更について</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度補正予算(第5号)について</li> <li>・令和4年度事業計画について</li> <li>・令和4年度一般会計予算について</li> <li>《報告事項》</li> <li>・令和3年度事業報告(10~12月)について</li> </ul>
--	--	---

#### ◇評議員選任解任委員会

期 日	審 議 事 項
令和3年6月23日	・任期満了に伴う新評議員の選任について

#### ◇監事会

	期 日	審 議 事 項
第1回 監事会	令和3年5月27日	・令和2年度事業・決算監査
第2回 監事会	令和3年8月24日	・令和3年度事業・会計第1四半期監査(4月~6月) ・現地監査(総務課、地域福祉課)
第3回 監事会	令和3年11月26日	・令和3年度事業・会計第2四半期監査(7月~9月)
第4回 監事会	令和4年2月24日	・令和3年度事業・会計第3四半期監査(10月~12月)
東近江市 法人指導監査	令和3年8月24日	・令和2年度事業・会計指導監査

#### (2) 事業運営の透明性の向上

財務諸表や現況報告、社協会費や共同募金について、社会福祉法人の財務諸表電子開示システム(ワムネット)および本会のホームページ・広報誌による情報公開を行いました。

#### (3) 財務規律の強化

社会福祉法人の会計基準に則り、適正かつ公正な支出管理を実施しました。また、今年度から顧問税理士による月例監査を実施しました。

なお、各答申を踏まえた経営改善策の計画に基づく財政強化に取り組み、会費については前年度比で増額となりましたが、共同募金は前年度比で減額となりました。引き続き自主財源の確保に取り組みます。

#### (4) 第三者委員会の開催

市民や利用者に第三者委員会の周知を行い、苦情解決や虐待防止に努め、事業改善に向け法人として対応を行いました。

委員より業務中の事故が多数報告されていることから、事故を減らすための取り組みについて、各課で検討し、車輛の運行前点検の徹底や発生事故の共有に取り組み、事故件数を減らすことができました。

	期 日	審 議 事 項
第1回	書面報告	・令和3年2月1日～令和3年7月31日 苦情1件 事故報告31件(車両事故10件、介護関係11件、その他10件)
第2回	令和4年2月21日	・令和3年8月1日～令和4年1月31日 苦情0件 事故報告15件(車両事故8件、介護関係4件、その他3件)

### (5) 各部署の連携強化

日常業務の円滑な実施のため課長会議ならびに主幹会議を定期開催し、情報の共有化を図ると共に職員の共通認識を高めました。

- ◇課長会議 12回
- ◇管理職会議 2回
- ◇主幹会議 12回(各課・事務所・事業所へ伝達)
- ◇社協改革プロジェクト 3回(業務改善運動「楽リンピック～経営危機脱出大作戦～」の実施)

### (6) 災害に備えた体制整備

発災時の初動体制や、発災後のフェーズごとの組織としての動き方、職員の動員について記したBCP(事業継続計画)について各課職員で構成するプロジェクト会議で検討を重ね更新を行い、災害への備えを進めました。

- ◇災害プロジェクト会議 6回

### (7) 行政とのパートナーシップの向上

地域福祉推進に不可欠な行政と常日頃からつながりを持ち、地域課題の共有を図りつつ、東近江市に必要な新たな取り組みについて、足並みをそろえて取り組めるよう関係づくりに努めました。

## 2. 経営管理の見直し

### (1) 人事考課制度

適正な事業・財政・人事管理ができる組織運営を図り、育成・評価・処遇を一体化した人事考課制度の定着を進め、職員一人ひとりが基本理念・基本目標の達成に向け、8つの職員像を目指しました。また、昨年度改正した人事考課制度の評価、

公正・適正な考課の実施向け考課者研修を開催しました。

- ◇人事考課者研修 令和4年2月10日(木) 19:00～

講師 大辻社会保険労務士法人 岩本 晃典 氏



### (2) 勤怠管理システムによる職員の労務管理

全職員の労務管理の一元化を図り適正な労務管理を行うため、勤怠システムを導入しました。

システム導入に向け、全職員を対象にした説明会および、



勤怠管理者を対象にした勤怠事務についての説明会を実施するとともに、勤怠事務運用マニュアルを作成するなど、システム運用がスムーズに進むよう努めました。

◇勤怠システム職員説明会 令和3年11月22日、25日、26日

◇勤怠システム管理者説明会 令和3年12月10日

### 3. 職場体制の整備

#### (1) 魅力的な職場環境づくりの推進

すべての職員が、仕事と子育てや介護を両立し、生き生きと働きがいをもって継続勤務できることを目指す一般事業主行動計画により、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を支援するため、雇用環境の充実を図りました。

◇女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定

◇育児・介護休業法の改正を踏まえた、育児・介護休業及び育児・介護短時間勤務に関する規則の一部改正(男性職員の育休取得推進に向けた改正)

◇社会保険適用拡大についての対象職員への周知

◇ストレスチェックを実施することで、職員のストレスの程度を把握し、職員自身のストレスの気づきを促すとともに、職場改善につなげ、働きやすい職場づくりを進めました。

◇特定職員に超過勤務が集中しないよう業務の分散化と各課応援体制の構築

◇働き方改革に伴う時間外勤務の管理および年次有給休暇5日間の完全取得

◇安全衛生委員会の開催

◇健診の要再検査の者への二次検査の促し

◇職員の健康管理のひとつの手段として「ノー残業デイ」を徹底

◇職員の夏季特別休暇の完全取得および年次有給休暇の取得の推進

◇無期雇用契約の仕組みの運営

#### (2) 新型コロナウイルス感染防止対策に向けた体制整備

新型コロナウイルス感染症に対応するため、分散勤務やマスク着用、消毒、検温等の徹底を行い、感染拡大防止に努めました。

◇職員のワクチン接種を促進するための特別有給休暇等の創設

#### (3) 職員の採用試験の実施

◇契約職員(令和3年10月1日採用)

1次試験 令和3年8月15日(適性検査・作文)

2次試験 令和3年8月23日(個人面接)

◇正規職員(令和4年4月1日採用)

1次試験 令和4年2月20日(教養試験・適性検査・作文)

2次試験 令和4年3月4日(集団面接・個人面接)



## 4. 社協会費

### (1) 会員の拡充

自治会を通じて一般会費を依頼するため、各地区の自治会長会議に出席し、会費の使い道を示したチラシや、各種助成事業の案内など、より多くの市民のみなさまにご理解・ご協力いただけるよう働きかけました。また、特別会費・賛助会費については、郵送でのお願いに加え、電話等で依頼するなど会員獲得に努めました。

なお、賛助会員については、ご芳名を社協だよりに掲載するなど、会員の増加を目指した取り組みを実施しました。

	令和3年度	令和2年度
一般会費（世帯）	11,208,111円	11,273,319円
特別会費（個人）	753,000円（556件）	774,000円（612件）
賛助会費（法人・企業・団体）	1,306,000円（311件）	1,141,000円（269件）

### 【評価と課題】

社協取引業者に協力を依頼するなど、新規会員獲得に向けた働きかけを行いつつ、これまでご協力いただいていた会員については、文書での依頼と電話等によるお願いの他、ご希望の方へは訪問し、地道な活動により一定の成果がありました。

会費が寄附金控除の対象であることのアピールや、協力いただいた企業を社協だよりに掲載することで社会貢献されていることをPRするなど、会費に協力いただくことのメリットについても引き続き発信し、新規会員の獲得を積極的に促進します。

## 5. 共同募金助成金の有効活用

赤い羽根共同募金運動の一層の推進により地域福祉財源の確保に努めるとともに、各団体への助成事業については、共同募金の趣旨に合った助成事業に転換し、その助成について審査委員会による審査を行いました。

### ◇審査委員会

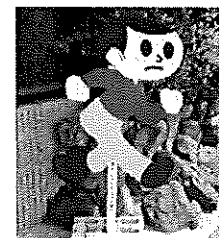
	期 日	審 議 事 項	助成実績
第1回	令和3年8月3日	地区社会福祉協議会地域交流事業	4地区7事業 43,500円
		福祉団体赤い羽根地域活動支援事業	16団体 434,600円
		ボランティアグループ育成・支援事業	25団体 408,000円
		見守り活動スタートアップ助成	1団体 39,229円
第2回	令和3年11月19日	地区社会福祉協議会 地域歳末たすけあい事業助成	7地区8事業 192,000円
		福祉団体 歳末たすけあい地域活動支援事業	7団体 190,500円
		歳末たすけあい激励金助成事業	113世帯215人 1,075,000円

### 【評価と課題】

コロナ禍であり、助成事業の申請団体が減数した他、助成決定した活動についても事業実施できない団体や実施方法の変更などにより、助成額を減額申請する団体が多くありました。

#### ◇飛び出し人形設置支援

交通事故から子どもの命を守るための注意喚起として、飛び出し人形の設置を支援しました。



令和3年度		令和2年度	
78自治会	78体	67自治会	67体

### 【評価と課題】

「子どもを事故から守る募金」を主な財源として飛び出し人形を製作・配付し、市内の交通安全啓発を行いました。今後も事業を継続し、市内の交通安全啓発に取り組むとともに、飛び出し人形の配布を通じて共同募金の啓発に取り組みます。

#### ◇子どもの遊び場遊具助成

子どもたちが安心して安全に遊べるよう遊具の新設・補修に助成を行いました。

	令和3年度		令和2年度	
新設	7件	1,026,500円	4件	600,000円
補修	14件	545,200円	11件	476,600円

### 【評価と課題】

子どもの遊び場遊具を補修・新設することで、子どもたちが楽しく安心安全に遊ぶ場づくりに有効に活用できました。共同募金活動の周知のため、各自治会への情報発信を様々な媒体を活用して行っていきます。

#### ◇いきいき健康体操助成（新規事業）

コロナ禍で人と人とのつながりが持てない中、ラジオ体操に必要な物品をお渡しし、地域でのつながりを切らない活動に取り組んでいただくよう助成を行いました。

	令和3年度
箇所数	18団体
回数 (参加者のべ人数)	758回 (11,921人)
助成額	131,450円



## 【評価と課題】

新規事業でしたが、誰もが取り組みやすい活動であったことから、18団体の申請があり、コロナ禍でも取り組める活動として多くの方が参加し、自然な見守りあいや、見守りあえるためのつながりづくり活動とすることができました。

### ◇共同募金使い道検討会

共同募金の有効な使い道について、滋賀県共同募金会からアドバイザーを迎え内部で検討会議を行いました。

	期 日	検 討 事 項
第1回	令和3年10月11日	・東近江市の地域課題の整理 ・共同募金を活用して広げたい活動について（グループワーク形式）
第2回	令和4年1月7日	・現在の助成事業の評価 ・助成事業の方向性について
第3回	令和4年2月4日	・助成事業の 카테고리について
第4回	令和4年3月1日	・「見守り活動」について

## 【評価と課題】

第3次地域福祉活動計画に基づき、東近江市の地域福祉推進により有効な募金の活用について検討を行いました。新要綱の整備と合わせて助成事業の幅広い周知を行います。



## 6. サロン活動への支援

サロン活動の運営に関する相談対応や助成事業を実施し、サロン活動を支援しました。

### ◇サロン活動支援助成

	令和3年度	令和2年度
箇所数	129ヶ所	132ヶ所
回数	889回	910回
助成額	3,102,859円	2,982,539円

### ◇新型コロナウイルス感染症対策特例サロン活動代替活動応援助成

	令和3年度	令和2年度
箇所数	94ヶ所	84ヶ所
回数	365回	330回
助成額	1,403,599円	1,258,613円

## 【評価と課題】

昨年同様、新型コロナウイルスにより、活動休止されたサロンや開催回数を減らされたサロンが多くありました。参集型のサロンに代わって実施される見守り訪問等の活動

を、共同募金の財源を活用したサロン代替活動応援助成事業を引き続き実施し、地域のつながりが切れないよう地域福祉活動の支援を行いました。

今後の助成のあり方については市と協議を行っていく必要があると考えます。

## 7. 地区社会福祉協議会の活動支援

地区の福祉向上を目的に設けられている地区社会福祉協議会の活動支援として、各財源により助成事業を実施することで、地域福祉活動の推進を図りました。

財源	助成事業名	助成結果	
会費	事務局運営助成事業	11 地区	1,967,250 円
共同募金	地域交流事業助成事業	6 地区	43,000 円
	見守り活動支援事業助成	12 地区	2,338,649 円
	歳末たすけあい事業助成事業	7 地区	192,000 円
善意銀行	事業費助成事業	6 地区	301,900 円

### 【評価と課題】

各事業助成について、新型コロナウイルスにより開催中止になったり、開催方法や内容を変更・縮小される団体もあり、助成金申請の変更や取消、返還がありました。

なお、地区社協は、地域福祉活動推進における重要なパートナーであり、助成による活動支援を、引き続き行います。

## 8. 善意銀行

「社会のために役立つことがしたい」という市民のみなさまの善意の気持ちで寄せられた金銭や物品をお預かりし、市内の福祉団体や施設、生活困窮世帯など支援を必要とされている方へ、善意の気持ちをお届けしました。

### ◇預託

#### <金銭預託>

	令和3年度		令和2年度	
一般寄附金	50 件	1,101,879 円	59 件	830,801 円
指定寄附金	31 件	1,768,397 円	42 件	1,556,323 円
自販機設置手数料収入	12 ヶ月	59,469 円	12 ヶ月	40,062 円

#### <物品預託>

お米、食料品、衣類、タオル、リハビリパンツ、野菜等 300 件



電気連合滋賀地方協議会第4区地区連絡会議様



五峰興風会様

＜リサイクル預託＞	使用済み切手	53 件	使用済みテレカ	4 件
	アルミ缶	32 件	牛乳パック	9 件
	書き損じハガキ	14 件	ペットボトルキャップ	98 件
	ベルマーク	29 件	プルトップ	17 件

◇預託金品等の払い出し

＜金銭の払出＞ ・地区社協事業助成 6 地区 301,900 円  
 ・指定助成金支出 14 件 200,000 円  
 ・災害見舞金事業 6 件(火災) 60,000 円

＜物品の払出＞ ・主な払出先 481 件  
 (生活困窮世帯、学童保育所、介護事業所、介護サービス利用者、こども食堂、作業所)  
 ・緊急用食料品給付事業 46 世帯 63 袋  
 ・「善意銀行まごころふりま」の開催  
 12月22日～24日。ハートピア、各事務所で  
 フードデイ25に合わせて実施、同時に福祉施設  
 等にも案内し必要な物品を活用いただきました。



まごころふりまの様子

＜物品の貸出＞ ・車いす 34 件

【評価と課題】

寄附物品などを必要とされている方にお渡し、特に生活困窮者支援としての役割を担いました。しかしながら、需要と供給のバランスや払い出し先が限られてきていることが課題となっており、その解決に向け、福祉施設等へアンケート調査を実施するなど、有効活用に向けたニーズ調査を行いました。また、事業を広く市民のみなさんにPRするため、リーフレットを作成しました。引き続き、寄附者と受領者のマッチングについて検討を行います。

9. 東近江市社会福祉大会の実施

地域の福祉活動、市民活動、ボランティア活動などに携わる人が集い、より一層地域福祉の機運を高め、「共に安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現を目指し開催しました。大会では、社会福祉の増進・向上に多大な貢献をされた個人・団体等を表彰し、その功績を称えるとともに、多額の浄財を寄附、または募金いただいた個人・企業・団体等に対しては感謝状の贈呈を行い、地域貢献に対する意識の啓発に努めました。

また、新たに募金百貨店として協力くださる事業所と合同調印式を開催し、事業所の周知と募金百貨店プロジェクトの啓発を行いました。

◇被表彰者選考委員会 令和3年9月 ※緊急事態宣言下のため書面審査

◇東近江市社会福祉大会の開催

日 時：令和3年11月6日(土) 10:00～

場 所：東近江市立愛東コミュニティセンター

参加者：約100名

＜式典＞

・東近江市共同募金委員会長感謝 21件(1名・20団体)

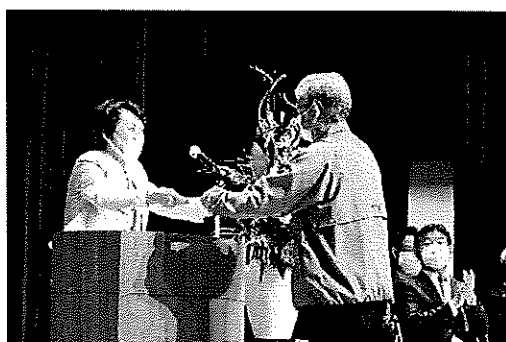
- ・東近江市社協会長表彰 19件(9名・10団体)
- ・東近江市社協会長感謝 30件(26名・4団体)

<募金百貨店プロジェクト合同調印式>

企業よし・寄付者よし・社協よしの三方よしのしくみとして展開している募金百貨店プロジェクトに新たにご協力いただける企業と合同調印式を執り行いました。

新規調印企業数	企業名
4企業	タテベコーヒーロースターズ、株式会社おおまえ、ためや、有限会社不二家具

(令和2年10月17日～令和3年11月6日)



社会福祉大会



募金百貨店プロジェクト合同調印式

【評価と課題】

地域福祉に携わる方が集う場として、地域福祉向上の機運を高めました。また、表彰状・感謝場贈呈式や募金百貨店合同調印式を行うことで、地域貢献の意識の醸成にもつながっています。

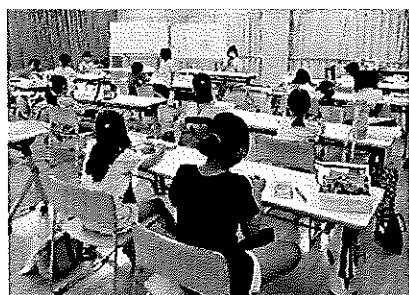
令和3年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で規模を縮小して開催しましたが、コロナ禍における開催方法など、できるだけ多くの方が参加いただけるよう検討します。

10. 児童センターの運営

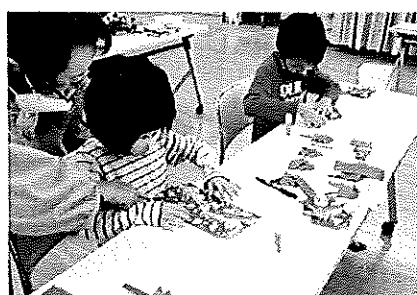
乳幼児の親子から小中高校生まで、幅広い年齢の子どもたちが遊べる環境を整え、遊びの場を提供と、遊びの指導を行い、仲間づくりや健やかに育ちあう安心安全な居場所づくりを行いました。また、おもちゃの貸出等を通して子育てを支援し各種相談にも応じました。

事業名	開催回数・件数	参加者延人数
遊びを通した日常的なかかわりの中での児童や保護者からの相談	106件(42件)	—
自由来館(遊びの提供、遊びの指導)	—	5,745人(4,482人)
おりがみ教室	1回	9人
陶芸教室	2回	20人
サイエンスクラブ	1回	10人

こども居場所づくり事業 (夏休み)	23回	601人
(冬休み)	2回	34人
児童センターだより発行	2回	—
おもちゃの貸出	35件	—



こども居場所づくり



おりがみ教室

( ) 内令和2年度

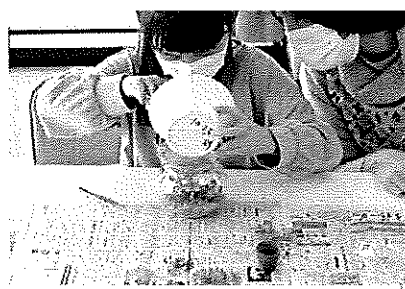
## 1 1. 母子・父子福祉センターの運営

ひとり親家庭、寡婦の方の自立と生活の安定、向上を図るため、講座等の開催を通じて、交流の場を提供し、困りごとや各種の相談にも応じました。

事業名	開催回数・件数	参加者延人数
筆ペン教室	3回	24人
親子テラリウム教室	1回	6人
親子ニュースポーツ体験	申込なしにより中止	0人
お仕事支援相談会	申込なしにより中止	0人
ライフプラン・マネープラン相談会	1回	1人
無料弁護士相談	申込なしにより中止	0人
ひとり親さん支援セミナー	2回	6人
受付対応、講座等の関わりの中での相談	67件(103件)	—



絵手紙教室



親子テラリウム教室

( ) 内令和2年度

## 1 2. 老人福祉センターの運営

高齢者の健康増進や教養の向上、生きがいづくり、交流の場を提供するため、仲間づくりの場、居場所づくりとして講座を開催し、困りごとや各種の相談にも応じました。

事業名	開催回数	参加者延人数
自由来館 (囲碁)	48回 (41回)	181人 (174人)
サークル活動の場所提供	154回 (248回)	1,053人 (2,527人)

健康体操教室	12回	143人
陶芸教室	3回	14人
絵手紙教室	1回	6人
安心スマホ講座	1回	11人
インターネット教室	1回	9人
テラリウム教室	1回	10人



健康体操教室



陶芸教室

( ) 内令和2年度

### 1.3. 施設運営・管理

市施設（指定管理）・市社協所有施設を運営する上で、広く市民からのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行い、地域に開かれた施設として適切な運営管理を行いました。

#### (1) 東近江市福祉センターハートピアの指定管理・運営

##### ◇貸館業務

総合的な福祉センターとして幅広い層の利用があり、貸館での来館をきっかけとした相談・支援なども行いました。

・年間貸館利用者数 825件 延べ8,038名(R2:955件 延べ9,320名)

##### ◇維持管理業務

来館者の安全確保を最優先に、検温、消毒、マスク着用等コロナ対策を徹底するとともに、清掃や施設・設備点検等の日常巡視点検、保守管理および簡易修繕を行い、施設の健全なる保全を図りました。

##### ◇自主事業

小地域福祉活動、相談支援事業、地域福祉権利擁護事業、ボランティアセンター事業、子育て支援事業、福祉図書・福祉関係ビデオの貸出、福祉共育事業、訪問介護事業、通所介護事業

#### (2) 市社協施設の維持管理・運営（5施設）

##### ◇ゆうあいの家

##### ◇せせらぎ

##### ◇ちやがゆの郷

##### ◇かじやの里の新兵衛さん

##### ◇デイサービスセンターあさひの

#### (3) 行政財産使用施設

##### ◇能登川障害福祉センター水車野園(能登川：事務所・訪問介護事業所)



## 1 4. 地域における公益的な取り組み

地域共生社会の実現に向けて、社会福祉法人の専門性や資源などを活かし、地域課題や地域のニーズに対応する社会貢献活動の推進と他社会福祉法人の社会貢献活動の推進支援を行いました。

### (1) 東近江市社協の地域貢献活動

- ・生活困窮者支援
- ・新しい総合事業による介護予防プログラムの実施
- ・交通安全啓発のための街頭啓発 24回/年

### (2) 他社会福祉法人の地域貢献活動の支援

- ・社会貢献活動の相談対応・情報提供・マッチング
- ・社会福祉法人ネットワーク会議における企画会議への参画 10回

## 地域福祉課

## 1. お互いさんの地域づくり ～やさしく ひろがる そっと見守り～

### (1) 見守り活動の推進

住民同士が気かけ合い、見守り合える地域づくりを目指し、見守り活動の推進、支援を行いました。コロナ禍において、人と人が集う機会が減るなか、見守り活動を行うことで人と人とのつながりが途切れることがないよう取り組みを継続できるよう支援しました。

地 区	活動名	実施主体	内 容
平 田	友愛弁当お届け事業	地区社協	運営相談対応
市 辺	見守り給食サービス	地区社協	運営相談支援
玉 緒	見守り給食	地区社協	給食の内容について情報提供
御 園	一人暮らし高齢者見守り事業	地区社協	運営相談
永源寺	おせち料理・友愛訪問	永源寺福祉の会	運営相談支援
五個荘	見守り訪問事業	地区社協	75歳以上一人暮らし高齢者訪問
	歳末見守り訪問事業	地区社協	80歳以上高齢者訪問
愛 東	見守り給食	地区社協	対象者の把握・関係団体への協力依頼

湖 東	季節の味お届けサービス	地区社協	運営相談対応、給食ボランティア解散後のお弁当作りの担い手探し相談対応
能登川	見守り支援活動事業	地区社協	1人暮らし高齢者名簿・訪問記録用紙の提供
		能登川民生委員児童委員協議会	1人暮らし高齢者安否確認訪問
	一人暮らし高齢者見守り安否確認事業	能登川地区老人クラブ連合会	75歳以上のひとり暮らし高齢者への訪問 75歳以上の一人暮らし高齢者訪問の名簿管理、暑中見舞い発送、安否確認訪問
	1人暮らし高齢者のつどい	能登川赤十字奉仕団	1人暮らし高齢者安否確認訪問(代替事業として) 運営相談支援

## (2) 見守り会議の開催、支援

自治会等の顔の見える単位で、困りごとを抱えた人のことや、気になることを話し合う機会として、見守り会議等の開催を支援しました。

地 区	活動名	実施主体	内 容
御 園	神田町見守り会議	神田町	会議出席、情報提供
	御園町見守り会議	御園町	会議出席、情報提供、進行補助
五個荘	五個荘川並町見守り会議	五個荘川並町	会議出席、情報提供
	五個荘山本町見守り会議	五個荘山本町	会議出席、情報提供
	ごかしょう安心サポート委員会	まち協	会議出席
能登川	桜ヶ丘福祉の会	桜ヶ丘	会議出席、情報提供

## (3) 生活支援サポーター養成と住民による生活支援活動の支援

### ①生活支援サポーター養成講座の開催

\* 1月から2月にかけて開催予定だったが、コロナウイルス感染拡大のため中止としました。

### ②生活支援サポーター交流会

\* 8月に開催予定だったが、コロナウイルス感染拡大のため中止としました。

### ③生活支援サポーターの活動支援

専門職や関係機関などつなぎや調整、サポーター懇談会の開催支援をしました。

平田地区と八日市地区では、サポーターグループが昨年度立ち上がり、今年度活動がスタート。定例会等で、活動についてメンバーで共有や活動について随時相談しながら進められています。活動の相談があった場合に、繋がりなきらい活動を心がけておられる。通院や買い物の送迎の相談が多くなっています。安全面などから、送迎をするかどうか悩んでおられるグループも多いです。

地 区	グループ名	支援内容
平 田	平田地区生活支援サポーター準備委員会	懇談会開催支援、会則作成の支援
	チョイサポ平田	活動相談対応、懇談会の資料準備・開催支援、運営相談
御 園	ちよこつとサポートみその	活動相談対応、懇談会の資料準備、開催支援、運営相談
中 野	たすけあい中野	活動相談対応、懇談会の資料準備、開催支援、運営相談
八日市	あなたの応援隊ようかいち	資料準備、会議出席、記録、意見・情報整理、相談、研修相談対応、研修講師調整、連絡調整、打合せ
永源寺	生活支援サポーター絆	活動、運営相談支援、資料作成
五個荘	ほっとハート五個荘	相談受付、連絡調整、事務支援、会議出席、情報提供、個別ケース会議出席、事務支援
湖 東	生活支援ボランティア『湖東おたすけ隊』	活動相談対応、懇談会の資料準備、開催支援、運営相談
能登川	ちよこつとサポートのとがわ	活動相談対応、懇談会の資料準備・開催支援、運営相談、依頼受付、面談調整、トラブル対応、活動調整、新規相談対応
	高齢者のみ世帯衣替え支援	相談受付、活動調整、安否確認支援
	日中一人暮らし高齢者の散歩支援	相談受付、顔合わせ・活動調整
蒲 生	おたがいさん蒲生	活動相談対応、懇談会資料準備、会議出席、運営相談

#### (4) 地域での集いの場・居場所づくりの支援

コロナ禍において、感染対策をしながら、また内容を工夫しながら開催をしたり、開催できない状況でも、見守り活動をされるなど、つながりなきらい活動されているところも多くありました。開催する、休止することの判断に、大変悩んでおられるところが多い。工夫されているところの事例を紹介したり、昨年度作成した支え合いの手引きなどを活用していただくなど相談に対応をしてきました。自治会活動が休止されているところも多く、再開できず悩

んでおられるところも多くありました。

◇サロン活動への支援(相談対応・活動調整)

地 区	回数	支援(相談・打合せ)内容
平 田	5	運営について相談対応
市 辺	15	情報提供、助成請求書受付、相談対応、配布のチラシ準備、演芸ボランティア依頼・調整
御 園	4	開催 15 周年の企画相談、サロン代表者への賞状の作成依頼、サロンの周知チラシ
八日市	2	活動保険対応、運営委員会の出席
南 部	2	相談対応、出前講座依頼
永源寺	3	サロン助成相談、各町の取り組み事例の紹介
五個荘	15	問い合わせ、情報提供、サロン助成申請、相談対応、情報提供、演芸ボラ依頼・調整
能登川	105	相談対応、ボランティア保険加入手続き、演芸ボランティア相談、サロン新規立ち上げ、助成申請・報告、代替事業相談・申請、未申請グループ状況確認、地区社協助成相談、おでかけサロン報告、サロン実施報告、レク備品・DVD 貸出し
蒲 生	72	活動相談、助成金の相談・申請・報告、演芸ボランティア依頼、見守り訪問に配布できる資料、代替活動
合計	223	(令和 2 年度 420 回)

◇自治会活動への支援(相談対応・活動調整)

地 区	回数	主な相談内容
市 辺	1	認知症見守り訓練について
永源寺	1	池之脇町の見守り会議について
五個荘	19	飛び出し人形・遊び場遊具助成について
能登川	80	演芸ボランティア依頼、障がい者の自治会費徴収、スタートアップ助成、遊具助成、一般会費、地区社協助成、他機関助成、民生委員と福祉委員、共同募金の相談、認知症理解研修講師紹介・資料提供、避難訓練、命のバトンの役割・購入場所紹介、研修参加受付、役員交代、世帯数の変更について
蒲 生	22	遊具助成、遊具の補修、ペンキの貸出、飛び出し人形について
合計	123	(令和 2 年度 136 回)

◇集いの場・居場所づくりへの支援(相談対応)

地 区	回数	支援(相談・打合せ)内容
市	2	市内子ども食堂への寄付の調整。 必要物品の確認、寄付の受け取り、受け渡し等の支援
平 田	7	カフェゆきのやまとふれあい広場、運営相談、鳴谷(〇〇さんを見守る会)相談対応
市 辺	5	よってみてカフェこぼしの運営・開催方法の相談
八日市	4	子ども食堂、子どもの居場所づくりの開催場所等について、助成金の申請について
永源寺	13	相談対応(子ども食堂の会場、ゆうあいの家の借用)、ボランティア保険の説明、子ども食堂の助成金、ボランティア保険、集いの場の継続方法について
五個荘	20	てんびんの里みなみ全体会議参加、てんびんの里みなみコア会議出席、活動参加・支援、情報提供、いきいき健康体操助成、演芸ボランティア
愛 東	4	子ども食堂立ち上げに関する相談、地域との調整等
湖 東	1	あじさい食堂 お弁当配食先の相談対応
能登川	100	活動調整、内容相談、ドリームハイツ自治会、スタートアップ事業申請の相談、いきいき健康体操申請、レイ大学生グループ実習場所紹介・内容相談・日程調整、ボランティア・団体助成申請報告、ボランティア保険、代替事業申請受付、サマホリ相談・調整、ボランティア相談・調整、チラシ作成・印刷配布、子ども食堂ボランティア調整、食材の提供配送、地区社協広報掲載、子育て支援活動、備品・図書・おもちゃの貸し出し、ベビーソファ配布
蒲 生	27	演芸ボランティア相談、介護非認定者の集いの場、わいが屋@せせらぎ講師、活動場所、子ども食堂開催・子ども達への周知の相談、コロナによるイベント中止、演芸ボランティア依頼、あかね福祉の会の地域活動支援助成について
合計	183	(令和2年 112回)

## (5) 福祉委員(福祉推進委員)との連携

小地域活動をすすめるため、見守りや支え合い活動の担い手として自治会に設置されている福祉委員の活動を支援しました。福祉委員同士の情報交換等の場に出向き、支援を行いました。

地 区	活動名	内 容
市 辺	福祉協力員会議	他町・地区の情報提供、相談対応、サロン活動の状況、意見交換会
五個荘	福祉委員研修会	命のバトン、話題提供、研修出席
	五個荘清水鼻町福祉委員会	資料準備、会議出席、福祉委員の役割説明、連絡調整
	五個荘山本町福祉推進会	会議出席
	五個荘川並町福祉委員会	会議出席
愛 東	中戸町福祉委員会	打合せ、今後の福祉委員会活動に関する情報提供
	北坂町福祉委員会	相談対応、協議事項について情報提供
湖 東	湖東地区まちづくり協議会 福祉部会	会議出席、地区の福祉活動の紹介

## 2. 気兼ねなく「助けて」と言えるしくみづくり

～「よう聞いて」「よう言うて」「おおきにな」～

地域のつながりのなかで、困りごとを気軽に相談できる場をつくり、自分たちのできることで、得意なことや支え合えることができ、いつまで出番と役割がもてる地域づくりを進めました。そのしくみの一つとして、「地区ボランティアセンター」の設置と運営支援をすすめました。

### (1) 地区ボランティアセンター運営支援

コロナ禍において、開催をどのようにしていくのか、感染対策や工夫できることを検討し、開催を継続するための支援等を行いました。

地 区	内 容
中 野 中野地区ボランティアセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中野地区 VC を考える会」への出席</li> <li>・運営の相談・支援 活動の場づくり、ボランティア調整、コロナ禍における開催について、チラシ配布 等</li> <li>・相談への対応（ケアマネからの相談、通院の送迎の相談 等）</li> </ul>
湖 東 湖東いこいこ広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まち協福祉部会」への出席</li> <li>・運営の相談・支援（ボランティア調整、周知チラシの作成 等）</li> </ul>
蒲 生 わいが屋@せせらぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わいがや支え合い蒲生」への出席</li> <li>・運営相談・支援（ボランティア調整、周知ポスターの作成 等）</li> </ul>



【湖東いこいこ広場】

## (2) 地区ボランティアセンター 立ち上げ支援

各地区で、地区ボランティアセンターの機能（気軽に相談できる場、お互いに助け合えるしくみ、役割と出番があるなど）が、第3次地域福祉活動計画を策定するプロセスにおいて、地区で必要な取組として話し合われました。また、第3次住民福祉活動計画の取組として、計画に掲載する地区が多くありました。各地区で、地区ボランティアセンターの立ち上げについての動きが高まりました。

地 区	働きかけ	今後の方向性
★平 田	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カフェゆきのやまとふれあい広場」の場が、地区ボランティアセンターの機能が含まれていることを説明。運営メンバーとも地区ボラセンであること共有できた。</li> <li>・地区ボランティアセンター勉強会においても、事例報告をしてもらう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ボランティアセンターの機能が充実するよう運営支援を行う</li> </ul>
市 辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民福祉活動計画推進会議において、必要な取組やしくみを検討するなかで、地区ボランティアセンターの機能のことを説明。市辺地区としても、必要な取組として認識された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民福祉活動計画推進会議や市福みらい会議で検討をすすめる。</li> <li>・R5年度設置を目指す</li> </ul>
玉 緒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協役員会を中心に、玉緒地区において地区ボランティアセンターとなり得る場を検討。</li> <li>・玉緒地区住民福祉活動計画推進会議において、住民アンケートを実施。その結果から、地区ボランティアセンターの必要性を共有することができ、第3次計画にも設置が位置付けられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民福祉活動計画推進会議の場で意見をもらい、地区社協役員会で協議をすすめ、R5年度設置を目指す。</li> </ul>
御 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民福祉活動計画推進会議において、地区ボランティアセンターの機能（ちょっとした困りごとが相談できる、こんなことやってみたいが実現できる）の必要性を説明し、検討を行う。第3次計画に、位置付けられた。</li> <li>・コミセンを拠点に、ボランティア活動を開始された方がおられ、その方の得意なことが活動につながった。このことが、地区ボランティアセンターの具体的なイメージにつながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民福祉活動計画推進会議で検討を進める。</li> <li>・コミセンとも協力しながらすすめられるよう検討の動きなども共有していく。</li> </ul>

建 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「建部地区の地域づくりを考える会」(第2層協議体)で、第3次住民福祉活動計画の策定を行った際に、人財発掘や活躍の場づくり、助け合いの仕組みづくりの必要性が話し合われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次計画を推進する中で、検討を進める。</li> </ul>
八日市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちつなぎ八日市」(第2層協議体)で、人財の掘り起こしのために、紹介カードを作成され、人財発掘や活躍の場づくりについて、検討をはじめた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材の掘り起こしの紹介カードから、人財をつなぎ仕組みづくりの検討へつなげる。</li> </ul>
南 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんぶ未来会議(住民福祉活動計画推進会議)において、3次計画を策定するなかで、地区の人がつながれる場の必要性や南部地区の方が活躍できる場づくりの必要性が話し合われ、第3次計画に位置付けられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なんぶ未来会議において、地区ボランティアセンターについて検討を進める。</li> </ul>
永源寺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住めば都プラン推進会議(地区住民福祉活動計画推進会議)において、人財の発掘には、つないでいく人が必要なことが話し合われた。第3次計画に位置付けられた。</li> <li>・永源寺地区社協や民児協、生活支援サポーターにも、地区ボランティアセンターのこれまでの検討してきたことなどを共有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ボランティアセンター設置のプロジェクトを立ち上げ、検討を進める。</li> </ul>
五個荘	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五個荘地区社協事務局会議、総務部会において、市社協がすすめている地区ボランティアセンター設置の動きや支援について説明。地区社協の事業計画にも挙げられている。</li> <li>・また、第3次計画にも地区ボランティアセンターの立ち上げにつながる活動も掲げられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次計画推進のなかで、具体的な話し合いの機会を設けていく</li> </ul>
愛 東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛東くらしの会議(第2層協議体)において、説明を行い、検討をすすめた。また、第3次計画策定のプロセスにおいて、地区の住民からも、地区ボランティアセンターの機能が愛東地区においても必要であることが整理され、第3次計画に位置づけ。</li> <li>・地区内にある集いの場(i・mart、ほんなら喫茶)に向き、地区ボランティアセンターの可能性を探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛東くらしの会議において、地区ボランティアセンター設置の検討を継続していく</li> </ul>
能登川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民福祉活動計画推進会議において、第3次計画策定のなかで、地区ボランティアセンターの機能が、能登川地区にも必要となり、第3次計画に盛り込まれることになった。</li> <li>・レコードカフェにおいて、どんな場や機会が求められているのかアンケートを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民福祉活動計画推進会議で検討をすすめ、モデル的に実施を行う。</li> </ul>

★…令和3年度モデル地区



### (3) 地区ボランティアセンター勉強会の実施

日時 令和4年3月25日(金) 13:30～15:30

場所 湖東コミュニティセンター 多目的ホール

参加者 37名

内容 ○話題提供 東近江市における地区ボランティアセンターの役割、目指していること  
地域福祉課 職員

○事例発表 カフェゆきのやまとふれあい広場の取り組み

平田ふくしのまちプラン実行委員会 山添壽久氏 浅野政太郎氏

○講義 平田地区の取り組みのひもときから、地区ボランティアセンターのような場や機能の良さや役割について

講師 光華女子大学 准教授 南 多恵子氏

○グループ懇談

地区ごと：各地区の活動の良さや地区ボランティアセンターの機能がある場について、もっとやってみたいこと、悩んでいることなど

グループ：各地区の取り組みの紹介や情報交換(悩みやアイデア等)

#### 《成果》

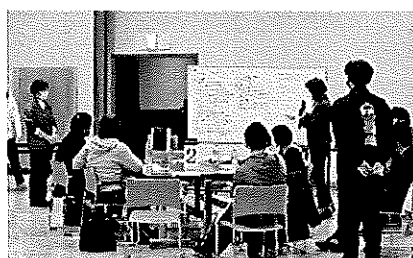
地区ボランティアセンターとして開催されているわけではないが、地区ボランティアセンターの機能を持つ平田地区の取り組みを各地区に知っていただくことで、新たな場を作るということだけでなく、機能やその必要性を理解してもらえ「地区ボランティアセンター」という名称にハードルを高く感じておられた地区についても、少し設置に向けたハードルを下げることができました。



(4) 生活支援体制整備事業 第1層協議体の開催と第2層協議体への働きかけ

①地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江(第1層協議体)の開催

日時	内容	参加者
令和3年 4月26日(月) 19:00~20:30	<p>第14回 地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江</p> <p>○地域支え合いコーディネーターより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いっそう元気！東近江」全大会の持ち方について</li> <li>・各プロジェクトの進捗</li> <li>・第2層協議体の進捗報告</li> </ul> <p>○グループ別懇談</p> <p>&lt;テーマ&gt;</p> <p>目指す地域づくりを進めていくために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いっそう元気！東近江」で大切にしていることや、取り組みを、2層域や多くの人に拡げていくには、どうすればいいか。(どんな発信や活動ができるといいか)</li> </ul>	35名
令和4年 3月24日(木) 19:00~20:30	<p>第15回 地域支え合い推進協議体 いっそう元気！東近江</p> <p>○地域支え合いコーディネーターより</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・趣旨説明</li> <li>・これまで(H29~R3)のふりかえり</li> </ul> <p>○各プロジェクトからの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの経緯、地域へ働きかけるツールの報告、みえてきたこれからの課題や今後東近江に必要なこと等</li> </ul> <p>○グループ別懇談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市域で協議が必要な課題の整理</li> <li>・課題解決に向け、一層協議体ができることの確認、検討</li> </ul>	26名

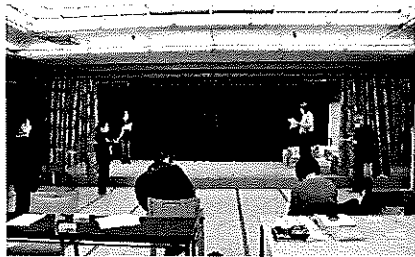


◇住民と医療・福祉の専門職がつながるプロジェクト(9回)

専門職が地域に出掛けるツールとして、また住民に健康長寿やフレイル予防の大切さを広めるためのツールとして、寸劇を作成。

《成果・課題》

専門職が地域に出掛けるきっかけとなるツールを作成することができました。現在は、プロジェクトメンバーで地域に出向いていますが、今後は一層協議体に参加していない医療・福祉の専門職にも生活支援体制整備事業や一層協議体のことを知ってもらい、地域に出向く意義を伝えていく必要があります。また、地域にも寸劇を活用してもらえよう周知していきます。

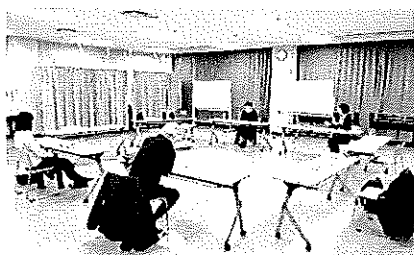


#### ◇暮らしを豊かにする外出支援プロジェクト（10回）

外出に関する課題や資源を整理し、昨年度モデル的に玉緒地区で実施した、おでかけ企画等も広く周知し、各地区に広めていくための方法を検討。令和3年度は公共交通の利用のハードルを下げられるようPRを検討しました。公共交通政策課とも協働し作成をしました。

#### 《成果・課題》

免許返納を見据え、公共交通機関の利用のハードルを下げるために、PRするリーフレットを作成することができました。しかし、外出支援に関する課題が幅広く、現在移動に課題に対する検討まですることができなかつた。今後も、移動に関する課題に対して、どのような仕組みや支援が必要か検討を継続する必要があります。

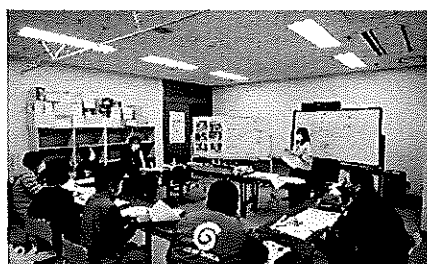


#### ◇農で活躍プロジェクト（10回）

いつまでも元気にいきいきと暮らし続けるためには、社会とのつながりや生きがい大切であることを、東近江市で盛んな「農業」をツールに広めていくために啓発する冊子を作成しました。実際に農業でいきいきとされている方にインタビューをし、専門職の視点から解説いただくなど、様々な人との協働で作成をしました。

#### 《成果と課題》

広げていくためのツールとして冊子を完成することができました。今後、実際の活動につなげていくためにどのように各地区へ広めるのか、どのような支援や資源が必要か検討をする必要があります。今後、各地区での反応や実践をしっかりとみて、1層としてどのように2層を支援していくのか考えていきます。



#### ◇暮らしの豊かさを考える研修会

住民と日頃から話し合える関係にある専門職から、どのように住民と関係を築いてきたのか報告してもらうなかで、専門職が地域と関わりながら、利用者の支援をしていくことが大切なことやどのようにつながれば良いかヒントとなるよう開催しました。

日 時 令和4年3月18日(金) 14:00~16:00

場 所 オンライン (ZOOM) 開催

内 容 ○話題提供「事例から紐解く、地域と医療・福祉専門職とのつながり」  
コーディネーター 武庫川女子大学 文学部 教授 松端 克文 氏  
登壇者 NPO 法人 加楽 楠神 渉 氏

#### ○グループ別懇談

テーマ 専門職として、どんな風に地域と関わりたいか  
関わるために、どんなきっかけがあるといいか

参加者 22名 (第1層協議体メンバー、医療・福祉の専門職、市職員)

#### 〈成果〉

参加した専門職より「利用者が安心して暮らしていけるよう、地域の方と一緒にできることを考えていきたい」、「事業所が所属する地域の第2層や、そこで話し合われている内容を知りたい」など、具体的に地域とつながりたいと思ってもらうことができました。

また、参加いただいた事業所から、第2層に参加したいと連絡をいただくなど、新たな事業所とのつながりができました。



#### ②第2層協議体の支援について

##### ◇第2層協議体への働きかけ・支援について

3地区の設置目指し、働きかけてきましたが、立ち上げまでは至りませんでした。しかし、話し合いのなかで、地区の中で話し合っていく場の必要性などは共有することができ、立ち上げて向けて検討を継続していける土壌はできました。また、第2層協議体とは、位置付けられていなくてもすでにある場が、第2層協議体の機能をはたしています。この検討をきっかけに、話し合いの場の整理につながっている地区もあります。

地 区	働きかけ	働きかけ先
平 田	まち協で、円卓会議のような場を検討されており、平田地区においてどの会議体が第2層協議体として位置付けていくのが良いか整理していく。また、平田地区内において、福祉の活動をする団体どうして話し合う場を持った。今後も定期的にあつまり、情報交換や悩んでいることを共有し、協働できることを探ることになった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まち協 会長</li> <li>・平田ふくしのまちプラン</li> <li>・地区社協</li> <li>・地区民児協</li> <li>・チョイサボ平田</li> <li>・コミセン館長</li> </ul>
南 部	南部地区ワーキング会議を経て、南部地区のことを定期的に話していく場を継続していくことが決まり、『なんぶ未来議』が発足。地域づくりを話し合う『なんぶ未来会議』を2層協議体に位置付けられるよう関わっていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部地区ワーキング会議</li> <li>・まち協</li> <li>・コミセン館長</li> </ul>
永源寺	住民団体が集う『各種団体長会議』、専門職が集う『チーム永源寺』、住民と専門職など多様な人が話し合う『輪つなぎ』の関係性を整理し、必要な話し合いの場をどのように設けるか検討中。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協</li> <li>・地区民児協</li> <li>・まち協</li> <li>・コミセン</li> <li>・高齢者施設</li> </ul>

◇第2層協議体への働きかけや支援について

地 区	働きかけ・支援	今 後
市 辺 市福みらい 会議	推進会議と第2層協議体の目指すべきところが同じであることから、どのように協議体の役割を分担するかを整理し、第3次計画を第2層と推進会議を中心に検討し、両輪の関係で推進していくことを共有した。	令和3年に市辺地区にある集いの場や機会の分析をもとに、具体的に必要な集いの場を広げていけるよう、他団体と連携し、協議、検討していく。
玉 緒 地区社協役 員会	今後玉緒で必要な地域づくりを考えるために、第2層として、玉緒の課題整理から行えるよう、打越さんや今若さんへ提案した。	課題整理で、見えてきた今後必要な取り組みやしきみ（外出支援や生活支援の取り組み、地区ボランティア窓口の設置など）の実現に向け、協議検討していく。
御 園 まち協企画 運営委員会	課題の把握について、推進会議で声集めの方法を提案し、メンバーと共に懇談会を開催した。 地域資源である医療・福祉専門職が、地域住民（推進会議メンバー）に広く関わってもらえるよう、そのきっかけとなる場をつくった	既存の第2層（まち協企画委員会）と、新たな2層の候補である「健康専門家会議」、そして住民福祉推進会議の役割や地区内での位置づけを、館長やそれぞれの代表者、関係者と共に話し合う機会を持ち、整理をする。

<p>建 部 建部の地域 づくりを考 える会</p>	<p>地域の課題把握を行い、地区に必要な場や活動について協議した。 つながりの良さや大切さを発信する講演会や、多世代間交流の「ちょこっとおすそわけ」等を第2層メンバーと共に企画し、人材の活躍の場づくりを進めた。</p>	<p>地域支え合い推進員の役割を見出すなど、建部の第2層の運営について検討していく。 人材の活躍の機会など、今後地区に必要な活動が見えたので、今までの第2層の活動を継続させながら、発展させていく。</p>
<p>中 野 なかのよい まち推進会 議</p>	<p>『なかのよいまち大en会』において、医療・高齢・障がい・子どもに関わる専門職と住民の懇談や、まちづくり委員との懇談をするなど、多様な人とのつながりづくりを働きかけた。 また、若い世代の声を聞く場として、「中学生懇談会」を実施。</p>	<p>第2層から専門職、自治会への働きかけを行い、必要な活動を具体化（形）にしていく。 地区VCの認知度、ニーズが高まっている。 健康づくり、フレイル予防などの講座開催にも引き続き力を入れながら、ゆるやかなつながりが生まれる場として機能させていく必要がある。</p>
<p>八日市 まちつなぎ 八日市</p>	<p>地域の課題を把握し、第2層として、地区に必要な活動や方向性の検討をすすめた。 人材の発掘と活躍の場づくりの活動の支援</p>	<p>まちつなぎの思いをより多くの人や団体に伝え、拡げていけるように、第2層のメンバーに女性や若い世代をはじめ、地域の様々な人にメンバーに入ってもらうなど、方法を模索する。</p>
<p>五個荘 住民福祉 会議</p>	<p>第2層で進める取り組みが実現していけるよう、協議体のコアメンバーへ、他地区の情報提供を行うなど、日頃から連携を取りながら、協議体を進めた。</p>	<p>第3次計画を推進していく場であり、住民や各種団体と一緒に取り組んでいけるような仕掛けを検討していく。 今年度作成した成果物（自治会福祉活動事例集・子育て応援マップ・集いの場マップ）を活用し、地域の反応を検証する。</p>
<p>愛 東 愛東くらし の会議</p>	<p>愛東地区では高校へ通学するのが不便なために、近江温泉病院の協力を得て、JR能登川駅までの通学応援バスを走らせることになり、その活動支援を行った。 地区社協が実施された、しあわせホーム（サロン）の再開に向けてアンケートから、第2層協議体でできる支援の検討を始めた。</p>	<p>愛東に暮らす人がどのようなことに困っているのか地域住民さんの声を広く聞き、そこから見えてきた課題に取り組んでいく。</p>

湖 東 湖東の支え 合いを考え るプロジェ クト	湖東地区の課題等を把握するために、地区住民への聞き取りをメンバーとともにに行い、意見を整理。 コロナ禍において、サロン活動などが休止するところが多く、活動の後押しとなるチラシの作成を行い、自治会長へ配布。	第3次地域福祉活動計画を推進していく体制を検討し、計画に基づき、具体的な活動の検討を進める。
能登川 住民福祉活 動計画推進 会議	第2層コーディネーターを担ってもらえそうなキーパーソンへ働きかけた。 課題の把握について、協議体で声集めの方法を提案し、メンバーと共に懇談会の開催や、アンケートを実施した。 課題把握の声集めと紐づけ、地域資源である医療・福祉専門職が、第2層協議体に広く関わってもらえるよう、そのきっかけとなる場をつくった。	第2層コーディネーターの設置に向け、第2層の地区内での位置づけ、「のりがわ福祉の会」との関係整理を行い、コーディネーターの設置を図る。 小地域（自治会や隣近所）での見守り会議や、地域の人たちがイキイキと活躍できる機会の創出、外出支援の取り組み、フレイル予防の啓発や取り組みなどを、具体的に進めていけるよう協議、検討していく。
蒲 生 わいがや支 え合い蒲生	第2層コーディネーター設置に向けた働きかけ、2名コーディネーターとして位置付けられた。 課題の把握について、協議体での声集め方法を検討し、メンバーと共に、アンケートを実施。 集いの場の見える化をし、冊子を作成。	コーディネーターの役割を明確にしていく。 第3次計画を進める中で、必要な取り組みを検討し、具体化していく。

#### ◇地域を元気にする協議体交流会

各地区の第2層協議体が、お互いの活動状況や悩みなどを情報交換し、今後の協議体の進め方を考えるきっかけとして、また、第2層協議体未設置の地区においては、第2層協議体設置を進めるきっかけとすることを目的に開催しました。

日 時 令和3年10月13日（水）13：30～15：30

場 所 オンライン（ZOOM ハイブリット）

内 容 ○説明協議体の現状について

○話題提供

まちつなぎ八日市の取り組み

話題提供者 河村尚昭氏 中川裕雄氏

○グループ懇談

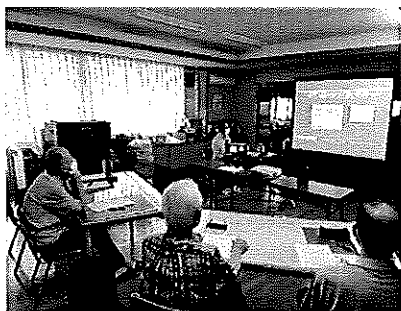
協議体を進める中での悩みや、お互いに聞いてみたいこと

コーディネーター 日本福祉大学 研究員 奥田佑子氏

参加者 各地区第2層協議体のメンバー 36名

## 《成果》

- ・第2層協議体を設置していない地区において、第2層協議体とは呼んでいないが、第2層に相当する協議の場について、確認ができました。
- ・各地区の第2層で、今後の地域づくりに必要な課題を把握し、今後の方向性を考えることができました。
- ・協議体交流会の八日市地区の話題提供から、第2層は活動も大切だが、いかに第2層の思いや気持ちを地域に拡げていくことが大切であることを確認できました。



## ③行政との連携

### ◇地域支え合いコーディネーター 定例会（12回）

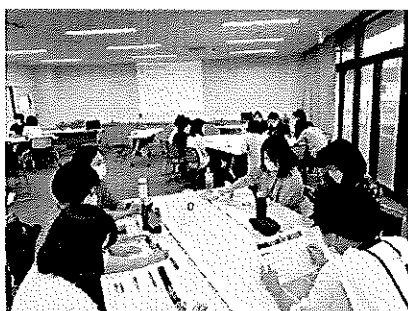
参加者 長寿福祉課、健康福祉政策課、まちづくり協働課、保健センター  
アドバイザー 日本福祉大学 研究員 奥田 佑子氏  
内 容 各地区の状況共有、事業の進捗共有と検討など

### ◇東近江市包括支援センター、保健センター、市社協 地区担当交流会

日 時 令和3年7月19日(月) 18:00～20:00

場 所 ハピネス

内 容 お互いの役割を知り連携を深めることを目的に実施。同じ地区の担当者同士が懇談し、必要な取り組みなどを話し合う



## (5) 重層的支援体制整備事業(多機関協働事業)

### ①相談支援包括化推進員の配置 2名

### ②相談支援包括化ネットワークを構築するための協議

相談支援課、地域福祉課において検討会を開催。社協内の相談支援体制について協議を行いました。



期 日	内 容
第1回 令和3年5月31日(月)	社協内にどのような相談がはいる、解決に向けどのように支援しているか洗い出し
第2回 令和3年6月23日(水)	これまで受けてきた相談で解決に至らないケース、解決しづらいケースの洗い出し
第3回 令和3年7月21日(水)	社協内でケース検討をする場をどのようにつくっていくか検討
第4回 令和3年9月2日(木)	地域福祉課で受けている相談から支援までのながれを共有 相談受付票(様式)の検討(相談の蓄積を行う)
第5回 令和3年11月19日(金)	相談受付票記載ルールの検討 職員向け研修の検討
第6回 令和3年12月8日(水)	職員向け研修について、松端先生に相談 研修内容の決定
第7回 令和4年1月13日(木)	中止
第8回 令和4年3月16日(水)	来年度の方向性について(社協内の体制について、ネットワークの構築について等) 包括化推進員の配置について

#### 《成果・課題》

- ・社協がどのように相談を受けとめ、支援につなげているのか整理することができ、各課で対応できないことに対して、他課へつなぎ支援を考えていくという社協の強みが活かされた支援ができていたことが分かりました。その一方で、職員の経験年数によっては、つなぎきれないケースもありました。
- ・また、困難ケースにおいては、なかなか解決に至らず、相談を受けた職員が抱え込んでしまうこともあり、困難ケースを検討できる場の開催等が必要ということが分かりました。

### 3. 一人ひとりの良さに気づくことから始める人づくり

～育ち合い 高め合い 和気あいあい～

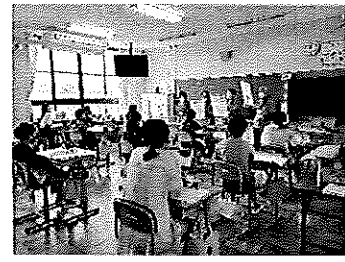
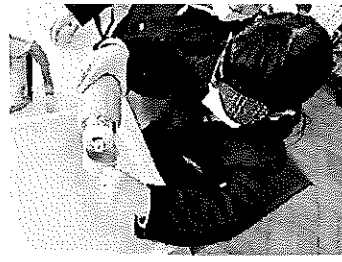
#### (1) 福祉共育の推進

地域のよいところを発見したり、課題について考えるなど、福祉や地域づくりについて学ぶ機会をつくり、子どもから大人まで地域に暮らす住民同士がともに育ちあう福祉共育を進めました。

##### ①福祉共育の実施

◇学校・自治会等 : のべ 84か所 (令和2年度 75か所)

◇相談・コーディネート : 174件 (令和2年度 124件)



## ②福祉共育情報交換会

日 時 令和4年11月29日(月) 10:00～12:00

場 所 東近江市福祉センター ハートピア

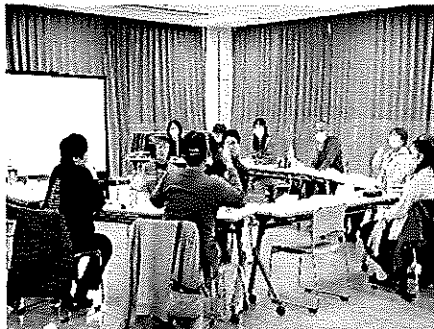
参加者 福祉共育協力者8名

内 容 福祉共育の目的と状況の共有

懇談：「福祉共育で大事にしていくこと、どのようなことを伝えていくか」

### 〈成果〉

福祉共育のねらいや大事にしていることを協力者の方と共有し、これからの福祉共育について、一緒に話し合い、考えていく機会として情報交換会を開催。協力者の方それぞれの福祉共育に対する思いに触れ、今後の取り組みなど共に考える貴重な場となりました。



## ③社会福祉現場実習の受け入れ

◇龍谷大学 社会学部 現代福祉学科

3回生 (23日間) 受け入れ人数 1名

◇びわこ学院大学 教育福祉学部 こども学科

4回生 (13日間) 受け入れ人数 1名

3回生 (10日間) 受け入れ人数 2名

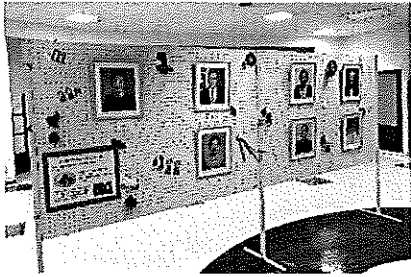
## ④米寿記念写真展

長寿を祝い、年長者を敬う心を育むことを目的に、米寿を迎えられた方の写真を撮影し、掲額をしました。

申込者数 76名(令和2年度 93名)

平田 9名 市辺 3名 玉緒 2名 御園 5名 建部 1名

中野 5名 八日市 8名 南部 2名 永源寺 12名 五個荘 3名  
 愛東 3名 湖東 4名 能登川 14名 蒲生 5名



※周知方法：各地区コミセンやまちづくり協議会の広報に掲載し、全戸配布できるようにし広く周知を図りました。

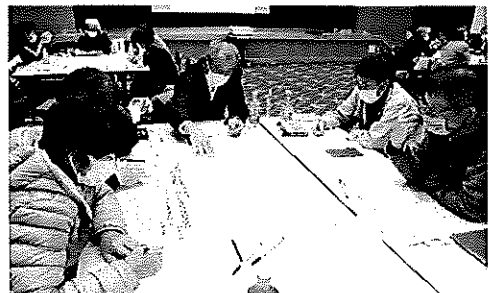
### ⑤住民懇談会の開催

地区において、様々な立場の方が集まり、自分たちの暮らす地域についてや、これからの地域づくりについて話す場が開催され、支援を行いました。

地区	事業名・内容	対象	回数	人数
御園	御園地区住民福祉活動計画推進会議 6月7日(木) 14:45~15:45 民生委員と主任児童委員との懇談	民生委員、児童委員との懇談	1	26
	6月17日(木) 19:30~20:45 高齢者・障がい児者、児童と関わる専門職との懇談	専門職との懇談	1	29
能登川	能登川推進会議	専門職との懇談	1	36
中野	なかのよいまち座談会 7月16日(金) 19:30~21:30 「中野に必要なこと、やってみたいこと」	中野地区住民等	1	15
	なかのよいまち大en会 7月21日(火) 19:30~21:30 懇談「地域の中で住民と専門職が一緒にできること」	中野地区住民、中野地区に関わる専門職等	1	28
	なかのよいまち大en会 12月15日(水) 19:30~21:00 懇談「中野の福祉のまちづくりで必要な事」	中野地区まちづくり委員、中野地区住民、専門職	1	26
永源寺	永源寺みらい会議 12月9日(木) 19:00~21:00 懇談「各種団体の活動共有、団体が抱える悩みの共有」	各種団体(21団体)	1	46



【なかのよいまち大en会】



【永源寺みらい会議】

#### 4. みんなが輝く場や機会づくり

～「得意」「好き」を持ち寄って東近江 115,000 笑ット～

##### (1) ボランティア登録・把握数

区 分	登録 団体数	登録人数	新規登録 団体数	新規登録 人数	登録外把 握団体数	登録外 把握人数
個人 ボラン ティア		22 人		0 人		5 人
団体 ボラン ティア	119 団体	1,599 人	6 団体	121 人	15 団体	136 人
合計	119 団体	1,621 人	6 団体	121 人	15 団体	141 人

##### (2) ボランティア保険加入数

ボランティア保険		
活動 保険	基本タイプ	184 件
		2840 人
	天災タイプ	32 件
		397 人
行事保険		100 件
		5,165 人

##### (3) ボランティア相談件数

地区	件数	地区	件数
平田	4	永源寺	30
市辺	12	五個荘	56
玉緒	5	愛東	7
御園	15	湖東	18
建部	0	能登川	471
中野	9	蒲生	123
八日市	26	市域	99
南部	10		
		合計	909

【内訳】

①ボランティアをしたい(新規活動希望)

相談経路	件数
個人	62 件
ボランティア団体	21 件
合計	83 件

②ボランティアしてほしい(依頼)

演芸、話し相手、庭の剪定、移送など

相談経路	件数
個人	61 件
ボランティア団体	15 件
自治会	36 件
サロン	24 件
施設 (ケアマネ・ヘルパー等)	20 件
学校、幼稚園	0 件
団体	15 件
行政	10 件
その他	5 件
合計	186 件

③ボランティア活動に関する相談

現在活動されている内容や保険について 等

相談経路	件数
個人	31 件
ボランティア団体	192 件
自治会	8 件
サロン	91 件
施設	1 件
学校、幼稚園	2 件
団体	38 件
行政	24 件
その他	10 件
合計	397 件

#### ④移送ボランティア

支援内容	回数・件数
定例会出席	10 回
活動調整、車両提供	62 件

#### ⑤布団乾燥ボランティア

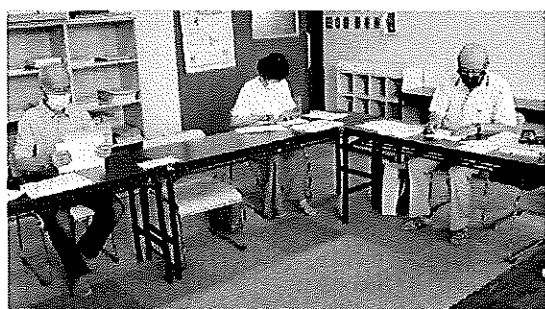
支援内容	件数
活動調整、車両提供	25 件

#### (4) ボランティアセンターの運営

ボランティア活動の活性化やボランティアの裾野が広がるよう、地域住民や企業・関係機関等とともに住民参画・協働により活動を推進しました。

#### ◇東近江市のボランティアの推進を考える会

打合せ・会議名	内 容
第 12 回ボランティア推進を考える会 12月6日(月) 9:30~11:30 南部コミセン 参加者:5名	ボランティア川柳の取組み報告 懇談「ボランティア同士でつながれる機会や場づくりについて」
第 13 回ボランティア推進考える会 3月9日(水) 10:00~12:00 御園コミセン	ボランティア同士のつながる場づくりについての企画会議
ボランティア川柳プロジェクト 7月6日(火) 13:30~15:00	川柳を活用したPR、川柳を掲載したマスクケースの配布 (募金百貨店等飲食店に協力依頼:9カ所)



【川柳プロジェクト】



#### (5) 子どもの学習・生活支援事業

貧困の連鎖を断ち切るため、生活困窮世帯の中学生、高校生を対象に、安心して過ごせる居場所の提供や季節行事等を通して、学習習慣や社会性を身に着けること等を目的に開催しました。9月の緊急事態宣言が発令された際には休止としましたが、その際には保護者や本人と電話連絡等を行い、相談に対応できるよう関わりを継続できるよう働きかけました。

### ①学習支援

会場	中学生		高校生		ボランティア		行政	その他	開催回数
	登録 人数	延べ 人数	登録 人数	延べ 人数	登録 人数	延べ 人数	延べ 人数	延べ 人数	
五個荘	5	127	4	61	3	61	13	9	43
南部	8	141	11	141	3	47	9	7	45
八日市	11	244	10	201	11	149	12	50	44

### ②冬休み特別講座

日 程 令和3年12月27日(月)、28日(火) いずれも、9:00～12:00

参加者数 中学生 2人 高校生2人 学生ボランティア 5人

### ③会議など

内 容	コーディネート内容	回数
学習支援事業検討会議	資料作成、参加	2回
ケース共有会議	資料作成、参加	5回
スクールソーシャルワーカー定例会	会議出席(事業の説明)	1回
高校との情報共有	子どもの様子や進路について共有	1回
参加児童 面談対応	面談(参加支援、相談支援)	8回
参加世帯 保護者相談対応	ケース相談	6回
保護者・新高校1年生との三者面談	面談	3回
世帯への戸別訪問	状況確認	5回
保護者、参加児童への連絡	保護者、児童への連絡	100回
ボランティアスタッフミーティング	会議開催	6回

### 《成果》

- ・子どもたちそれぞれに寄り添いながら学習面、生活面の支援を行いました。特に受験生については、進路目標を達成できるよう応援し、過去の入試問題やSPI問題の学習、面接練習など重点的に取り組んだ結果、合計11名の受験生が志望校に合格することができました。
- ・9月に緊急事態宣言が発令され、学習支援が中止となった際も、子どもの様子や世帯状況の把握のため電話や訪問による確認を行いました。その中で家計状況に不安が感じられる世帯などについて、支援機関につなぐなど状況に応じた支援をすることができました。
- ・コロナ禍で子どもたちの活動も制約される中、学習以外の経験や思い出を蓄積してもらえよう、季節行事の開催について大学生ボランティアと検討を重ねました。コロナ感染対策に留意しながら工夫してできることを企画し、クリスマスパーティーや卒業パーティーを開催することができました。

## 《課題》

- ・令和3年度は参加児童中、約半数が高校生。学習内容が難しくなるにつれて、基礎学力のない子どもたちは、入学後の早い段階で勉強についていけずモチベーションを保てないなど課題があります。工業、農業など専門科目を教えることも学習支援の場では難しい状況です。高校生の学習面の支援について関係機関との検討や連携が必要です。
- ・外国籍児童は言葉の壁や、日本語の読解力などに課題があり、勉強の積み重ねができず、学習支援だけでは対応が難しい現状があります。学習支援の場以外にも外国籍児童を支援できる場が必要です。また、世帯についても家庭環境が複雑で課題も複合化しており、いつの間にか転居しているなど状況の把握が難しくなっています。

## (6) 障がい児サマーホリデー事業の実施

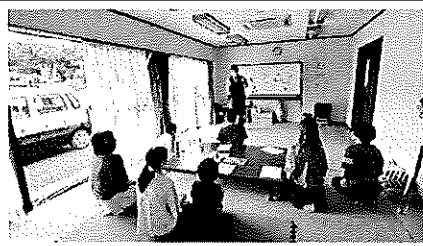
新型コロナウイルス感染防止対策を施して実施をしました。昼食は調理をせず外注弁当とし、プールを中止するなどプログラムを変更して3密を避ける工夫をし、できる限り衛生面を徹底して行いました。

### ①開催について

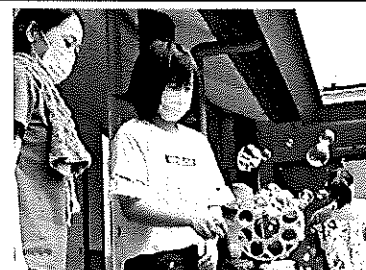
会 場	期 間	指導員	登録数	参加人数 (延べ)	ボランティア (延べ)
八日市会場 (野口町自治会館)	7月26日～8月20日(15日間)	6人	21	97人	97人
永源寺会場 (ゆうあいの家)	8月4日(1日間) *参加申込が2名に満たず13日間閉所 *コロナウイルス感染対策のため1日閉所	2人	2	2人	3人
五個荘会場 (五個荘コミセン)	7月26日～8月26日(11日間) *参加申込が2名に満たず4日間閉所	4人	8	28人	33人
愛東・湖東会場 (湖東コミセン別館)	7月27日～8月23日(12日間) *参加申込が2名に満たず2日間閉所 *大雨警報により1日閉所	6人	6	34人	63人
能登川会場 (能登川自治会館)	7月27日～8月12日(11日間) *コロナ感染対策のため4日間閉所	3人	11	70人	70人
蒲生会場 (せせらぎ)	7月24日～8月23日(14日間) *大雨警報により1日閉所	5人	11	90人	90人
合 計		26人	59	321人	356人



【サマホリ八日市会場】



【サマホリ永源寺会場】



【サマホリ能登川会

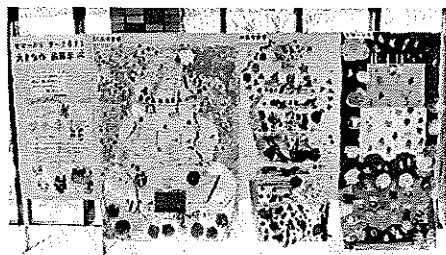


②その他打合せ、会議など

- ◇サマーの会打ち合わせ 8回
- ◇指導員リーダー会議 7回
- ◇指導員研修 3回 (コロナウイルス感染症対策、学校への訪問)
- ◇直前オリエンテーション 6回
- ◇会場ふりかえり会 6回

◇大きな作品展

日程 令和3年9月1日～9月13日 場所 八日市文化芸術会館



【テーマ：デコレーションケーキ】

③障がい(児)について理解を深める学習会

日時 令和3年7月10日(土) 10:00～12:00

場所 蒲生コミュニティセンター 小ホール

内容 障がいのある方に関わる方々のお話

- ・社会福祉法人 八身福祉会 葉菜屋 加藤 由紀子氏
- ・サマーの会

参加者 20名

(7) シニア世代の仲間づくり講座の開催

シニア世代へ仲間づくりのきっかけとなる場を提供し、地域の活動等に関心を持てる機会をつくりました。

	日時	内容	人数
1	11月12日(金) 13:30～16:00	ニュースポーツで交流しよう!	9人
2	11月18日(木) 13:30～16:00	紅葉を見よう!	8人
3	11月26日(金) 13:30～15:30	グラウンドゴルフを楽しもう!	8人
4	12月3日(金) 13:30～16:00	うどんを打ってみよう!	8人
5	12月10日(金) 13:30～16:00	先輩シニアの活動紹介、グループ懇談	8人
		延べ参加人数	41人



(8) その他、ボランティア、当事者支援

地 区	組織・団体	内 容	回数
市	ワンペアレントサポートプロジェクト	連絡調整、資料準備、打合せ、相談	90 回
	そらいろ親の会	活動、役割の情報交換	1 回
八日市	おかえり食堂フードドライブ	ボランティア顔合わせ、連絡調整	7 回
南部	八日市南高校	食材支援について社協内相談、連絡調整、フードドライブによる困窮支援	2 回
	八日市南高校フードバンク・Mitte	連絡調整、打合せ	4 回
永源寺	チーム永源寺	会議参加	8 回
	永源寺みらい会議 準備会	運営相談、資料準備	8 回
	つむぎ会	永源寺地区の福祉のPRについて	1 回
能登川	能登川赤十字奉仕団	ひとり暮らし高齢者の集い開催	2 回
八日市 8 地区	八日市赤十字奉仕団	事務局の運営(会議開催、事業相談)、社資の事務等、研修会の開催準備、参加、活動支援	9 回

5. 東近江市の魅力の再発見と誇りづくり～やっぱりええやん 東近江～

(1) 広報誌「ひがしおうみし社協だより」の発行、ホームページの運用

社協活動や地域活動を発信するために、広報を発行し、タイムリーな話題については、ホームページを活用しました。

	発行	発行部数	配布方法
ひがしおうみし社協だより	4 回	32,700 部 (30,750 部)	新聞折込、窓口設置、個別郵送

\* ( ) は、令和2年度

(2) e-おうみNOW 「のぞいてみよう!社協♪」 (スマイルネット)

令和3年度より、新たに社協を発信することを目的に、スマイルネット協力のもと実施

放送日	内 容
7月29日(木)	ハートピアってどんなところ!?
9月16日(木)	楽しくフレイル予防体操!
11月17日(水)	FoodDay25
1月27日(木)	福祉共育をのぞいてみよう
3月24日(木)	演芸ボランティアと地域をつなぐ

### (3) SNS (facebook) を活用した情報発信

月	件数	内 容
4	3	善意銀行寄付/デイサービス
5	5	善意銀行寄付/デイサービス/ボランティア活動/ボランティア募集
6	1	募金百貨店プロジェクト
7	5	策定委員会/サマホリ/川柳/デイサービス
8	2	デイサービス/サマホリ
9	6	デイサービス/ボランティア
10	2	洗車ボランティア/デイサービス
11	3	福祉共育/永源寺看板設置/FoodDay25
12	5	FoodDay25/デイサービス/善銀/共募
1	3	書き損じはがき/歳末激励金/職員募集
3	5	手作りお雛様/ひな祭り/デイサービス/ヘルパー
合計	40	

### (4) 地域のお宝発見と発信

これまで、市域で気軽に集まれる場が、人とのつながりを生み、そこから見守りにつながっていること、また社会とのつながりがフレイル予防にもつながることを発信してきました。しかし、コロナ禍において、集いの場、通いの場が休止され、これまで通りの発信内容では活動の後押しにならない状況でした。また、各地区でも「地域のお宝」を発信するところも増え、これまでの「集いいね」を再検討することにし、令和3年度の発行は取りやめました。

少しでも活動の後押しになればと、令和2年度に発行した「地域の支え合いの手引き」やフレイル予防の体操やレシピの冊子を増刷し、相談対応の際にお渡しできるようにしました。

冊子	部数
パンフレット コロナに負けるな！フレイル予防	500
おいしく食べてフレイル予防	1,000

### (5) ボランティア通信・支え合い通信の発行

月		発行部数	内 容
6	ボランティア通信	1,000	福祉共育の取り組み（車いす体験）
9	つながり通信	1,000	支え合いの地域づくり（地域のお宝探し）

## 6. 地域活動を進めるためのサポート

～ とことん14地区にこだわり、地域づくりをすすめます ～

### (1) 地区の地域分析

地域の特性に応じた地域活動をすすめるために、地区担当ワーカーが各地区の課題や資源、住民の思いやニーズを把握し、地域の特性を分析し、地区に応じたふくしのまちづくりを進めました。

### (2) 地区社会福祉協議会の活動支援と連携

地区	事業・活動名	コーディネート内容
平田	会議：役員会、運営委員会 事業：助成金、見守り支援	会議出席、地区社協の役割を説明 事業、運営相談対応
市辺	事業：助成金、 福祉協力員会議	助成金相談対応、会議出席
玉緒	会議：役員会 事業：助成金	会議出席、助成金相談対応
御園	会議：事務局打合せ、事務局 会議、三役事務局会議 理事総会、理事会 事業：サロン交流会	打合せ参加、情報提供、会議参加、進行補助、相談対応、資料準備
建部	事業：見守り支援	事業相談対応
中野	会議：事務局会議、総会 常任理事会 事業：なかの福祉のまちづくり 座談会 お米の寄付 地区VCを考える会	会議開催の相談と打合せ、資料準備、会議開催の相談、出席 連絡調整、情報提供
八日市	会議：四役会、役員研修	相談、資料作成、準備、会議出席 研修講師調整
永源寺	会議：総会、常任理事会 三役、事務局会議 三役会、各部会	運営、事業相談対応、資料作成
五個荘	会議：事務局会議、理事会 総務部会、事業部門 事業：自治会福祉推進連絡会 福祉委員研修会、命の バトン、わくわく広場	会議出席、連絡調整、打合せ資料準備、話題提供

愛 東	会議：組織体制検討、理事会 会長、副会長打合せ 三役部会長会 事業：社協広報	打合せ 会議出席、情報提供、情報整理 相談対応、会議資料作成 発行スケジュール管理、紙面割付検討、連絡 調整、とりまとめ、校正
湖 東	会議：理事会 事業：季節の味お届け サービス	会議出席、福祉研修会内容検討 準備、地区内学校へ絵手紙の協力依頼、給食 ボランティア解散後の、お弁当作りの担い手 探し相談対応
能登川	会議：理事会、研修部会 事業：広報、サロン研修会 三者懇談会、見守り事 業、自治会助成	資料準備、会議参加、会議進行補助、情報提 供、事業計画、事業検討 取材先の紹介、調整、校正 自治会配布数の変更、苦情受付 講演会、サロンボランティア研修講師調整 新自治会への訪問調整 関係団体との連携調整、事業報告の支援
蒲 生	あかね福祉の会 本部役員会	相談対応

### (3) 地区社会福祉協議会 交流会

コロナウイルス感染拡大のため、中止としました。

### (4) 民生委員児童委員協議会との連携

住民に最も身近な支援者である民生委員・児童委員との連携により、困りごとを抱える方の  
発見や地域生活を支える支援、また地域ぐるみでの見守り活動や助け合いの活動を支援しまし  
た。

### ○市民児協の事務局の運営

地 区	事業・活動名	コーディネート内容
市	事務局担当 総会（書面決議）三役会、理事会 総務委員会、高齢者福祉部会、児童福祉部 会、障がい児者部会、主任児童委員部会、 広報委員会	会議運営、事業運営、研修開催 支援、定例会資料準備、当日会 議出席
八日市	地域活動について	問い合わせ対応
永源寺	事前会議 君ヶ畑町自治会長との打ち合わせ	会議出席、相談対応
湖 東	三役会	相談対応、会議出席、コロナの ため定例会中止にあたる資料案 内文作成、県外研修調整

能登川	代議員会 子どもの居場所づくり	会議準備、参加、資料作成、相談 対応、事業、運営相談
	高齢者の見守り活動、高齢者、障害者支援 歳末たすけあい激励金 民生委員活動保険、ボランティア保険 フードデイ	
各地区	定例会、社会福祉調査	会議準備、参加、資料作成と説 明、相談対応

#### (5) まちづくり協議会との連携

各地区で広くまちづくりに取り組まれているまちづくり協議会と連携し、地区社会福祉協議会をはじめとする地区内の関係団体との協働でふくしのまちづくりを進めました。

地 区	事業・活動名	コーディネート内容
中 野	おすそわけプロジェクト	打ち合わせ、資料作成、会議出席
	おすそわけプロジェクト もろて～な市	当日の流れと資料打合せ、チラシ準備、資料 作成、当日参加
八日市	つながりプロジェクト	資料準備、会議進行、はちのひカフェの参加
愛 東	命のバトン	救急情報用紙印刷・配布、絵と標語の募集
湖 東	福祉部会	資料準備、会議出席、事業報告、事業計画、 予算の作成
	ふるさとまつり	開催準備
能登川	防災連絡会	会議出席

#### (6) 「地区住民福祉活動計画」の推進支援

地区担当ワーカーが市内14地区で地区住民福祉活動計画の推進のための話し合いの場  
に参画し支援しました。また、令和3年度は第3次地区住民福祉活動計画を策定する年とな  
り、各地区において、策定の支援も行いました。

地 区	事業・活動名	コーディネート内容
平 田	平田ふくしのまちプラン	三役会、推進委員会参加、会議の資料準備、 運営相談対応、会議出席
市 辺	市辺地区住民福祉活動計画推進会議	打ち合わせ、運営相談対応、資料作成、会議 出席
玉 緒	玉緒地区住民福祉活動計画推進会議	意見集約、素案修正
御 園	住民福祉推進会議	開催に向けた打合せ、資料作成、会議進行補 助
建 部	建部の地域づくりを考える会	資料準備、打合せ、会議出席、記録、第3次 計画に向けた住民の声の聞き取り、意見整 理、相談、素案の作成、校正

中野	なかのよいまち推進会議	運営等相談対応、資料準備、会議出席、打合せ
	なかのよいまち大en会	打ち合せ、資料準備、会議参加
	おすそわけPJ もろて～な市	打ち合わせ、資料準備、会議出席、当日の流れと準備打合せ、資料作成、当日参加
八日市	八日市つながりプロジェクト	相談、打合せ、資料準備、会議参加、記録、進行サポート、情報整理、会議進行、連絡調整
	八日市つながりプロジェクト・まち つなぎ八日市懇談会	懇談会日程調整、打合せ、懇談会出席、記録、資料作成、進行
	八日市つながりプロジェクト・まち つなぎ八日市合同会議	日程調整、資料作成、会議出席、記録、打合せ、会議進行、意見整理、素案作成、校正
南部	南部地区ワーキング会議	資料作成、会議出席、聞き取りシートの作成、進行、記録
永源寺	住めば都プラン推進会議	運営相談対応、資料作成
五個荘	五個荘地区住民福祉会議	準備、連絡調整、説明、会議参加、相談対応
	五個荘地区計画策定推進会議、 事務局会議、コア会議	資料準備、会議出席、説明、記録、グループ懇談進行、打合せ、連絡調整
愛東	愛東くらしの会議	打合せ、相談対応、資料作成、会議出席、情報整理、連絡調整、展示、素案作成、意見集約、インタビュー
湖東	湖東の支え合いを考えるプロジェクト	会議の資料準備、参加、連絡調整、住民アンケート集計
能登川	住民福祉活動計画推進会議	資料作成、会議出席、会議進行補助
	レコードカフェ	チラシ作成、開催準備、当日参加
蒲生	わいがや支え合い蒲生	資料作成、会議出席、聞き取りシートの作成、進行、記録

## (7) 第3次東近江市地域福祉活動計画 策定

### ①策定委員会の開催

	日時・場所	協議内容
第2回	令和3年6月28日(月) 14:00～16:00 蒲生コミュニティ 小ホール 参加者 22名	東近江市の課題について 今後必要な取り組みについて
第3回	令和3年10月25日(月) 19:00～21:00 湖東コミュニティセンター 多目的ホール 参加者 24名	市域の課題の整理 目標の柱立て

第4回	令和3年12月22日(水) 19:00~21:00 湖東コミュニティセンター 参加者 21名	地区住民福祉活動計画策定 進捗報告 目標(案)の検討
第5回	令和4年3月14日(月) 14:00~16:00 湖東コミュニティセンター 参加者 23名	スローガンの検討 素案について
インタビュー	令和3年5月20日(木)~6月9日(水) 参加者 26名 職員 30名	策定委員へ日頃の活動や思 いを聞く

## ②職員懇談会の開催など

### ◇キックオフミーティング

日 時 令和3年4月13日(火) 19:00~21:00  
場 所 東近江市福祉センターハートピア・各事業所  
ハイブリット形式(対面・ZOOM混合)で開催  
対 象 社協職員(正規・嘱託職員)  
参加人数 52名  
内 容 講義「活動計画とは、地域福祉とは」  
講師 武庫川女子大学 心理・社会福祉学科  
教授 松端 克文氏(策定委員長)

### ◇職員懇談会

日 時 令和3年6月 8日(火) 19:30~21:00  
令和3年6月11日(金) 19:30~21:00  
場 所 東近江市福祉センターハートピア 1階和室 2階会議室  
対 象 社協職員(正規・嘱託職員)  
参加人数 58名  
内 容 日頃の業務から見えてくる東近江市の地域課題や住民の困りごとについて  
市社協として取り組んでいくことや必要な取り組みについて検討

## (8) その他

### ①地域活動への支援等

地区名	事業・活動名	コーディネート内容
市	ラウンドテーブル運営委員会	まちのわ会議打合せ
五個荘	てんびんくらぶ	会議出席
	きいと運営会議	会議出席
	障害部会ひきこもり研修	講師調整
能登川	能登川赤十字奉仕団	奉仕作業参加、活動支援、連携調整
	目をつむる写真展開催について(相談)	福祉事業所への情報発信



身体障害者厚生会事業	バス旅行、草刈り活動相談支援、他団体との連携調整
びわ湖ワークス	イベント備品貸出、チラシ窓口設置
介護施設の民間助成申請	申請受付、推薦書の作成
遺族会	窓口業務、事務局への連絡、各班からの入金受付

②担当者会議等

主催者	内容	回数	参加人数
東近江市	第3回地域福祉推進計画 推進委員会	1回	4人
	市要保護児童地域対策協議会 実務者全体会議	1回	2人
	東近江市福祉法人ネットワーク会議	10回	2人
まちづくりネット 東近江	総会	1回	1人
	多文化共生フェスティバル実行委員会 委員依頼	1回	1人
青少年育成市民 会議湖東支部	青少年育成市民会議 総会	1回	1人
地域福祉課	ワーカーミーティング(毎月第3月曜日) ・第3次地域福祉活動計画策定員会ふりかえり ・地区住民福祉活動計画策定の進捗確認 ・広報の特集について検討 ・重層的支援体制整備事業について ・サマホリ、地区社協について	12回	42人
地域福祉課	ファシリテーション研修 (ホワイトボードミーティング) ①令和3年8月2日(月) ②令和3年9月6日(月) いずれも18:30~20:30 ③令和3年9月8日(水) 場所:東近江市福祉センター ハートピア 講師 しがNPOセンター 西川 実佐子 氏	3回	20人
地域福祉課	リモートにおけるファシリテーション研修 令和3年9月13日(月) 18:30~21:00 場所:東近江市福祉センター ハートピア 各事業所 講師 しがNPOセンター 西川 実佐子 氏	1回	20人
地域福祉課	相談援助に関する職員研修 令和4年2月21日(月) 13:30~15:30 場所:東近江市福祉センター ハートピア 講師:光華女子大学 准教授 南 多恵子 氏	1回	11人

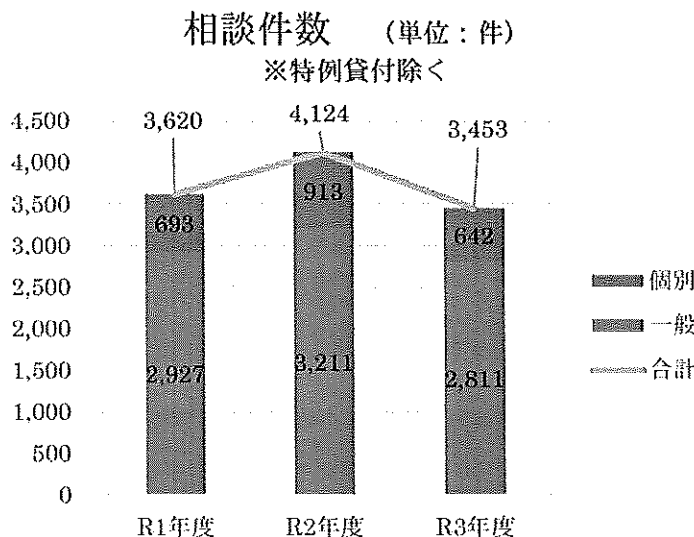
## 相談支援課

社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士・主任介護支援専門員・相談支援専門員・看護師等の資格をもつ社協職員が、専門的な知識や技術を活かし、身近な相談窓口として市民からの様々な相談に応じました。相談者の困りごとを丸ごと受け止め、伴走した支援に努めるとともに、住民のもつ力と専門機関・多職種が連携した相談体制づくりを目指し、支援の狭間をつくらぬ社協だからできる相談支援を目標に取り組みました。

### 1. 職員の専門性を活かした相談支援

#### (1) 総合相談事業

社協職員のもつ専門的な知識や技術・多様な事業、関係機関や住民とのネットワークを活かし、相談者の抱える困りごとを丸ごと受け止めて解決する総合的な支援に努めました。

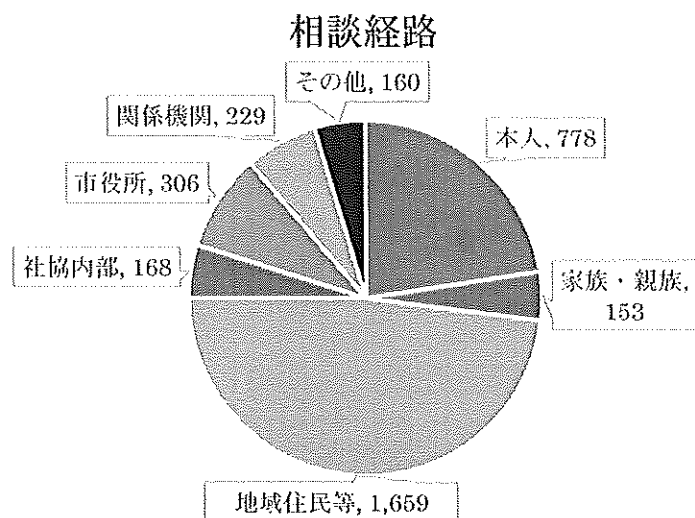


新型コロナウイルス感染症の影響による失業や労働時間短縮に伴う生活維持や負債に関する資金相談は、延長や再貸付等の追加支援する制度が終了したことで、昨年度と比べて減少しましたが、現在もなお新規の貸付相談については継続しています。

また、集いの場などの活動再開に向けたボランティアの相談や見守り活動、助成事業に関する相談等も寄せられました。

**相談経路** (単位: 件)

本人	778
家族・親族	153
地域	1,659
社協	168
市役所	306
福祉サービス	229
その他	160
合計	3,453




結果 (単位: 件) 重複有

解決	1,658
社協による相談の継続・支援	1,348
他機関の紹介・引継	401
その他	46



会費	5
善意銀行	62
共同募金運動	9
助成事業	71
ボランティア	184
関係団体支援	119
地域福祉活動 (自治会)	69
地域福祉活動 (地区)	67
地域福祉活動 (市域)	25
福祉共育	46
法律相談	11
資金相談	351
食糧支援	66
その他	264



地域	218
市役所	144
他機関 (福祉施設・教育・医療)	18
その他	43

【評価と課題】

新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、減収や失業に起因する生活困窮世帯からの資金相談が多く、外国籍の方やひとり親家庭、病気や介護での経済的困難、ひきこもりの相談等、様々な困りごとに対し、伴走した相談対応を行いました。

資金の活用提案や他機関 (行政くらし相談・地域包括・障害支援・子ども政策課等) との連携、市外転居者の他県・他市町社協との情報共有や連携も行いました。

社会的な状況を背景に、解決できない課題や相談もあり、いのちと暮らしを守る相談窓口として相談者の質の向上と相談体制の充足、他機関連携と協働強化が必要です。

(2) 法律相談

日々の暮らしの中の困りごとに、法律的な立場から顧問弁護士が助言を行う無料法律相談を実施しました。申し込み受付時に相談者の困りごとをお聞かせいただき、法律的に助言を得たい点を整理し事前に弁護士に報告することで、相談当日の時間が相談者にとって有益なものとなるよう支援しました。

相談件数 35 件

【相談内容】

離婚 (調停、養育費、慰謝料等) 7 件、借金・債務整理 7 件、相続・贈与 10 件  
 建築・賃貸トラブル 4 件、養子縁組 2 件、金銭トラブル 1 件、損害賠償 1 件、  
 財産管理 1 件、ペットトラブル 1 件、土地 (売買、工事、隣面等) 1 件

- \* 解決 17 件 (解決策、法的根拠がわかる、納得等)
- 弁護士依頼 6 件 (債務整理等)
- 社協相談 4 件 (家計相談)
- 外部紹介 3 件 (支援機関等)
- その他 5 件 (答え出ない、納得できない等)

【評価と課題】

法律相談を受けることで、問題解決の糸口をつかめたり、相談後のフォローとして弁護士や支援機関につながるケースも多く、相談者の安心につながっています。

相談内容によっては、相談者にとって納得のいく回答が得られない場合もありますが、弁護士からの回答を得て、相談者自身が一旦その課題に区切りをつけることができます。

## 2. 生活困窮者への生活支援

### (1) 家計改善支援事業の実施(委託)

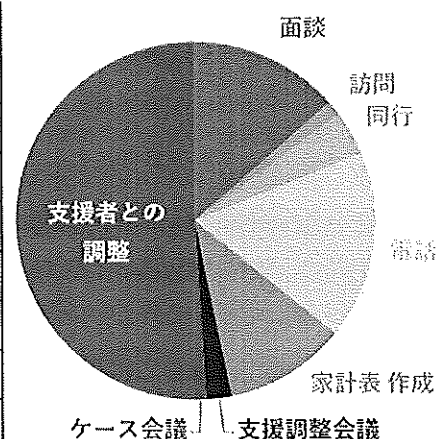
生活に困窮されている世帯の困窮状態から脱却を目指し、生活再建に向けた意欲と家計の管理能力を高められるよう、家計の見える化や課題整理、滞納や債務の整理など伴走した相談支援を行いました。相談者の多くは地域で孤立状態の方も多く地域の資源との連携により社会参加や地域の中でつながりをつくる支援を進め、暮らしを少しでも豊かにすることで、生活意欲を高める取り組みを進めてきました。

#### 【家計改善支援事業 実績】

	プランあり	プランなし	合計
相談者数 実人数	39人	22人	61人
相談支援 件数	1,032件	242件	1,274件
相談終結 件数	24件	3件	27件

#### 相談支援件数 (内訳)

	プランあり	プランなし	合計
面談	136件	36件	172件
訪問	15件	2件	17件
同行	49件	2件	51件
電話	165件	51件	216件
家計表作成	130件	10件	140件
支援調整会議	29件	0件	29件
ケース会議	13件	1件	14件
支援者との連絡調整	495件	140件	635件
合計	1,032件	242件	1,274件



#### 相談終結件数 (内訳)

	プランあり	プランなし	合計
自立(目標達成)	7件	0件	7件
生活保護へ移行	1件	1件	2件
他支援へ引継	4件	1件	5件
他市へ移行	1件	0件	1件
市家計改善支援員へ引継	7件	0件	7件
その他	4件	1件	5件
合計	24件	3件	27件

### ※自立（目標達成）の背景

- ・ 就労収入の増加により収支が安定
- ・ 滞納の解消
- ・ 債務整理による支出の減少
- ・ 世帯収支の安定
- ・ 家計管理意欲の向上
- ・ 生活面の改善意欲の向上 など

### 【評価と課題】

相談者自身が生活や家計の課題に気づき、生活再建にむけて暮らしの状況と相談者の能力に合わせた家計改善を進めたことで、自立による支援終結（目標達成）のケースが増えました。

相談者は20～40歳代の若者が増え、障がい・高齢・世帯まるごとなど課題の多様化や複雑な要因が絡んできており、目標達成に至らず支援が長期化するケースも多い状況です。

相談者の困りごとの背景にある根源的な課題を把握し、多機関との連携による支援を進めることが出来ました。今後も複雑多様なケースの増加が想定され、行政・民間の支援機関だけではなく、地域にある福祉以外の資源との連携や協働の強化が必要です。

民生委員・児童委員との連携により、集いの場など地域資源への参加を支援したことで、孤立解消や相談者のいきがいにつながり、家計改善意欲の向上を図ることができました。本人の能力や特性に配慮し丁寧につないでいくコーディネーションが必要なことが見えてきました。

コロナ特例貸付が困窮状態の一時的なしのぎとなり、潜在的なニーズや課題が顕在化されず、必要な支援につながっていない状況です。家計改善も新規や継続の相談者件数が減少しており、今後、コロナ特例貸付が終了し、償還開始時に相談の急増が懸念されます。

### (2) 生活福祉資金・小口貸付資金事業

低所得者世帯など困窮状態にある人の相談を受け止め、生活を立て直す支援として貸付を行いました。貸付を入口に暮らしの課題を整理し、必要な支援につなぐとともに多機関との協働による相談支援を行いました。

生活福祉資金で対応できない方や次の収入までの一時的なつなぎの生活費が必要な方へは、本会独自の小口貸付資金を活用し、即応した相談支援に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による失業や休業などの減収で生活資金の確保が困難な方々への「コロナ特例貸付」の対応を行いました。

緊急食料支援や善意銀行の寄附物品の活用や就労支援など、経済的困窮の背景にある課題に着目し、貸付だけに頼らない他資源を活用した対応に努めました。

### 【生活福祉資金実績】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
相談者数	251人	241人	413人	+172人
相談回数	542件	343件	546件	+203件
貸付件数	31件	14件	17件	+3件
貸付金額	15,422,000円	8,890,000円	12,770,000円	+3,880,000円

【貸付資金の種類別件数】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
総合支援資金	3件	0件	0件	±0件
緊急小口資金	7件	4件	2件	△2件
福祉費	9件	2件	7件	+5件
教育支援資金	12件	8件	9件	+15件
臨時特例資金	0件	0件	0件	±0件
不動産担保型	0件	0件	0件	±0件

【貸付が必要になった理由】

- 緊急小口資金.....
  - ・仕事の病欠などの減収による、次の収入までの生活費
- 福祉費.....
  - ・市営住宅退去に伴う転居費
  - ・生活保護世帯の夏季のクーラーや冷蔵庫の購入費
- 教育支援資金.....
  - ・大学、専門学校、高校進学に必要な入学費用・学費等

【新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付実績】

(単位：人)

	令和2年度		令和3年度		総合計	
	件数	(円)	件数	(円)	件数	(円)
緊急小口資金	1,535	(772)	568	(155)	2,103	(927)
総合支援資金	1,402	(761)	596	(185)	1,998	(946)
総合支援資金 延長	590	(301)	139	(24)	729	(325)
総合支援資金 再貸付	549	(298)	622	(206)	1,171	(504)
合計	4,076	(2,132)	1,925	(570)	6,001	(2,702)
申請金額合計	1,632,340,000円		810,240,000円		2,442,580,000円	

( ) 内は外国籍の方

【小口貸付資金】

\*貸付金額は貸付決定総額

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
相談者数	54人	34人	32人	△2人
相談件数	152件	72件	86件	+14件
貸付件数	21件	22件	19件	△3件
貸付金額	510,000円	565,300円	440,000円	△125,300円
償還件数	41件	31件	31件	±0件
償還金額	595,200円	572,300円	426,000円	△146,300円

※令和3年の貸付件数19件のうち、18件の借入理由は生活保護初回受給までの生活費

【評価と課題】

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、失業や休業による減収で生活費の確保が出来ない方からの相談が増加。特に外国籍の方や自営業の方などからの相談が増加しました。

特例貸付により迅速な対応は出来たが、対応に追われ、本来の貸付による生活再建を見越した丁寧な相談が出来ず、もともと債務を抱えていた人が更に借金を重ねるといったケースもありました。

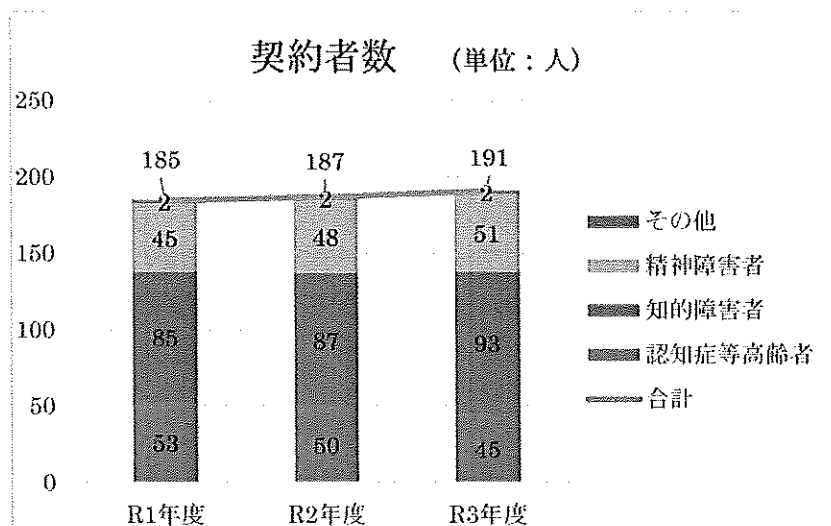
令和5年1月から特例貸付の償還がはじまる人が多く、償還免除の相談、貸付や給付

金を活用しても生活が立て直せなかった人の相談増加が想定されます。経済的な困窮に加え、社会的に孤立されている方も多く、行き場のない困窮者が増えないよう貸付の償還を入口にした伴走支援や社協内の体制整備、複雑多様な課題に対応していくための多機関との協働が必要になります。

従来の生活福祉資金や本会の小口貸付資金の活用による生活再建も視野に入れながら、食糧支援や就労支援などの資源を活かした「貸付だけに頼らない対応」に努めていくことが必要です。

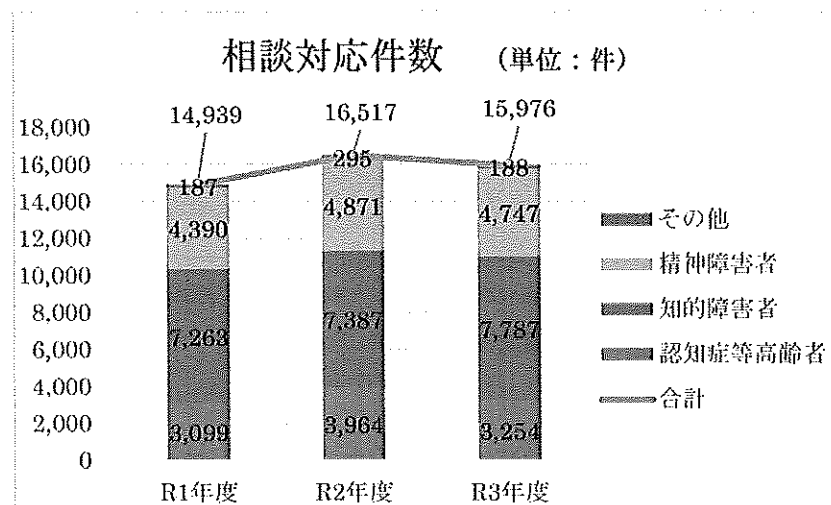
### 3. 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症・精神障がい・知的障がいのある方などが、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用に関する手続きや日常的な金銭の管理を中心とした支援を行いました。新型コロナウイルス感染が拡大する中、利用者の生活を支える支援関係者とも連携し、感染防止を心掛けながらの支援提供に努めました。これまで待機いただいていた方にも順次面談等を行い、契約手続きを進めることができました。



令和3年度  
新規契約者 16名  
終了者 12名

令和3年度末契約者数191名  
のうち、生活保護世帯50名



コロナ禍における訪問回数  
の見直しや面談時間の短縮など、  
感染拡大防止に取り組みました。

訪問や面談の減少に反動して電話  
での相談が増えており、コロナ禍に  
おける人との会う機会が減って、  
寂しさや不安を感じて電話をして  
こられる方もおられました。

#### 【評価と課題】

これまで課題となっていた新規利用希望者の待機について、毎月のミーティングにお

いて計画的に受け入れる体制を整えてきたことにより、待機解消につなげることができました。今後も新規相談へのスムーズな対応が取れるように努めていきます。

利用者支援における課題として、国のキャッシュレス化推進に伴いスマートフォン決済が普及し、気軽に買物が出来てしまうようになってきたため、携帯電話代が高額になり、家計を圧迫するケースも見られるようになりました。目に見えないお金の動きや決済のしくみの理解を促すことに苦慮しています。

#### 4. 成年後見制度の利用支援

法的に権利を守る成年後見制度を周知し、必要な人が適切に利用できるよう支援を行いました。

- ①常設相談での成年後見に関する相談への対応（制度説明）
- ②地域福祉権利擁護事業利用者の後見申し立て支援、新規相談者への相談対応。
- ③困窮者支援との連携や相談対応（制度説明）
- ④東近江圏域成年後見サポートセンターE-SORA運営への参画
  - ・運営委員会 年2回参加
  - ・運営委員会（実務者）年5回参加

#### 5. 障害者（児）相談支援事業の実施

障がいのあるなしに関わらず、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会づくりを目指したサービス提供に努めました。

##### (1) 相談支援事業（委託）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
相談件数	3,953	5,896	6,378	+482

##### 【評価と課題】

社協の総合相談で受け止めた困りごとや相談に対し、障がい福祉制度の支援が必要な内容については行政や関係機関等につなぎ、本人のふだんの暮らしにつながる支援を行ってきました。

特定相談支援事業を終了した方に対して、一般相談としての定期的な関わりを持ち、生活の困りごとの聞き取りを行いながら、振り返りの場としての機能を保持しました。必要に応じて特定相談支援事業を再開し、福祉的就労の支援を行いました。

多機関との協働を強化するため、行政・暮らし相談の事例検討にも参加しました。

##### (2) 指定特定相談支援事業（自主）

障がい者の方が福祉サービスを利用する際に、必要なサービス等利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行いました。

主任相談支援専門員研修などの専門研修受講を進め、より適切な支援が行えるよう取り組みました。また、介護保険事業との連携や保健所等、医療と福祉をつなぐ支援や、他機関協働による伴走した相談支援を行いました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
年度末契約者数	182	220	218	△2
計画作成数	161	181	220	+39
モニタリング数	473	639	675	+36



## 【評価と課題】

新規ケースの相談依頼が多くある中、当事業所も受け入れが難しい状態ではありますが、新規相談支援事業所の参入に伴う市の障がい福祉サービス充実のため、市及び他事業所と連携の上、新規事業所へのケース移行(20ケース)を行いました。これに伴う補充として、新たに新規ケース(障がい児含む38ケース)の受け入れを行いました。

ライフステージによる切れ目のないサービスを提供するため、介護保険への移行を説明しました。介護保険のケアマネジャーと連携し、高齢と障がいの併用利用し、利用者に負担の少ないサービスの移行を進めています。

コロナ禍での作業所の休所や自宅療養・待機などによって、環境変化があった方に対し、本人のふだんの暮らしを再確認してもらったうえで、新たな生活様式に対応できる支援を提案してきました。

困難ケースにおいては、他の相談支援事業所とのケース検討を行ってきました。令和4年度より、新たに立ち上がる相談支援事業所連携会議(仮称)に参加し、ケース検討や地域課題の共有を行い、東近江圏域での相談支援専門員の質の向上に努めます。

### (3) 指定障害児相談支援事業(自主)

障がい児の方が通所支援を利用する前に、障害児支援利用計画を作成し、一定期間ごとにモニタリングを行う等の支援を行いました。

発達支援センターところから学童期児童の引継ぎケースの受け入れや家族との環境調整を行い、スムーズな支援移行と今後の青年期での豊かな地域生活へつながる支援計画を提案しました。障がい児の方の権利を守り、人権を尊重した支援に取り組みました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比較
年度末契約者数		3	6	+3
計画作成数		3	14	+11
モニタリング数		1	17	+16

## 【評価と課題】

2年目として、発達支援センターところからの移行ケース、新規外国籍のケース、愛知高等養護からのケースなど、障がい児においても年齢や障がい種別を問わない支援を行いました。また医療的ケア児の研修を受けた相談員を配置することで医療に対する相談の強化にも取り組みました。

養護学校就学児ケース、就労アセスメントケースにおいては、学校との連携を図り支援しています。養護学校卒業生のケースでは、指定相談障害者相談支援事業に移行し支援を継続しています。

コロナ禍において、放課後デイサービスの休所や、学級閉鎖等があり、ふだんの暮らしが脅かされている状況ですが、本人・家族をふくめ、今後の支援継続について、関係機関と連携対応していきます。

## 6. S&S(スマイル アンド スタンド)

さまざまな理由で就労や生活のしづらさを抱えておられる方や社会に出るきっかけをさがしておられる方に、居場所や社会参加の場を提供しました。参加者が活動を通して人と繋がることで自信をもてるよう支援しました。

- ・S&S参加者実数 6人
- ・活動状況 4回

プログラム	回数	延べ参加者数
ワンペアレントサポート 食糧仕分け	1	1人
赤い羽根共同募金 資材仕分け	1	4人
FoodDay25 食糧仕分け	2	5人
合計	4	10人

◇企業での活動（ヴァイジエシムラ 箱折作業） 2人  
参加者実数2人（通年 2人）

### 【評価と課題】

活動を通して参加者の好きなこと、得意なことの気付きを得て今後のステップへ移行する際の参考材料になっています。

担当者が他の事業と兼務で進めていくなか、深く参加者と関わることが出来ず、十分なアセスメントができていない状況です。また、例年協力依頼があったイベントや企業からの依頼がコロナ禍で中止になっている中で、活動の場も減少しています。

## 7. Food Day 25による‘食’の支援

生活に困っておられる方が、食の心配をせず安心して新年を迎えられるようにとの思いで、年末に食糧等をお届けする‘食’の支援「Food Day25」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止にも配慮を行いながら、3日間に分散した事前申し込み形式による食糧配付を行いました。市民の皆様からの善意によるご寄附を、民生委員児童委員をはじめ、市や福祉事業所の協力により食糧を必要とする多くの方にお渡しすることができました。

今後も皆様の声に耳を傾け、社協の困窮者支援の一つとして取り組んでいきたいと考えます。

### ◇Food Day25の開催

日時：令和3年12月22日(水)～24日(金)

場所：東近江市福祉センターハートピア、社協各事務所

#### ・寄附件数

食糧品等	52件
------	-----

#### ・配付件数

平田	4件	南部	32件
市辺	12件	永源寺	8件
玉緒	11件	五個荘	23件
御園	17件	愛東	11件
建部	7件	湖東	12件
中野	25件	能登川	24件
八日市	34件	蒲生	24件
		合計	244件

### 【評価と課題】

コロナ禍で生じた相談やコロナ特例貸付等を通じて、失業された方やひとり親家庭の方などの一時的あるいは継続した支援を求められる方に広く周知することが出来ました。また、開催の回数を重ねてきたことで恒久的に困窮されている方にとってこの支援を毎年心待ちにされており、定着しつつあります。

新型コロナウイルス感染症の影響による経済不況が続き、配布件数が増加(昨年比1.

5倍、例年比2.5倍)しましたが、複数の団体から大口の寄附をいただき、1件あたりに例年と同様の物品を配布することができました。しかし、寄附件数自体が減少傾向にあるため、困窮しておられる方だけでなく、地域住民に幅広く周知していく必要があります。

在宅福祉課

### 1. 新型コロナウイルス感染症関係

新型コロナウイルス感染症の影響により職員を自宅待機や事業を休止する期間がありました。デイサービスで合計13日間、休業する期間がありました。

《デイサービス休業期間》

デイサービスセンターゆうあいの家	8月 9日(月)～10日(火)	2日間
	8月18日(水)～20日(金)	3日間
	2月27日(日)～3月2日(水)	4日間
デイサービスセンターあさひの	3月 4日(金)～3月8日(火)	4日間

《ヘルパーステーション》

訪問介護においても、職員の感染や職員家族の感染により濃厚接触者となり、介護員や訪問時間の調整をケアマネジャーと連携しながら対応を行いました。体調管理や手指消毒、換気等の感染予防対策の徹底を図りサービス提供を行いました。

### 2. 会議

新型コロナウイルス感染症の感染防止策としてzoomで会議を開催しました。

(1) 訪問系事業会議

- ①管理者会議(月1回の定例会議)
  - ②サービス提供責任者会議(月1回の定例会議)
- 今年度、「研修」「事務効率化」「サービス提供責任者の仕事」の3つのプロジェクトに分かれて実施。それぞれのプロジェクトで検討した内容を進めました。

(2) 通所系事業会議

- ①管理者会議(月1回の定例会議)
- ②生活相談員会議(月1回の定例会議)

### 3. 地域に出向いて行う介護予防教室

	期日	内容
大塚町 近所でみんなと介護予防	4月7日(水)、6月2日(水)、7月7日(水)、10月6日(水)、11月8日(水)、12月8日(水)、1月12日(水)	介護予防運動、脳トレ

#### 4. 自治会サロンへの参加

自治会等	期日	内容
下里町サロン	9月18日(土)	介護予防運動、脳トレ
とんとん茶一くる (東本町)	9月24日(金)	介護予防運動、脳トレ
東市辺ふれあいサロン	11月22日(月)	介護予防運動、脳トレ
あったかサロン梅花藻 (垣見町)	12月7日(火)	介護予防運動、脳トレ
紅葉尾町ふれあいサロン	12月17日(金)	介護予防運動、脳トレ

#### 5. 市内他事業所との協議・協働

##### (1) 休眠預金を活用した民間公益活動

『通所型・訪問型単独の介護・障害福祉事業所で働く人のための新型コロナウイルス感染症拡大防止研修会』

6月14日(月) 蒲生コミュニティセンター 19:00~20:30

6月16日(水) てんびんの里文化学習センター 19:00~20:30

参加事業所2日計:32事業所 43名

両日とも同じ内容で滋賀県東近江保健所から講師を招き「感染拡大させないための正しい基礎知識と感染者が出た時の備え」と題し、実技(防護服の着脱)を交えた研修会を行いました。

参加者から「事業所で行っている感染予防でよいかの確認ができた。」「対策一つ一つの意味が分かった。」「実践的でよかった。」「事業所に持ち帰り伝達しやすい内容だった。」との感想をいただきました。



##### (2) 能登川地域事業所連携会議

(能登川地域の通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所 8事業所)

災害時の協力体制づくりをテーマに各事業所の管理者が集まり、能登川地域の事業所同士が連携の取れる関係づくりに取り組みました。

8月20日(金) 災害時の協力体制づくり 災害時等連携協定書について

10月14日(木) 災害時の協力体制づくり 災害時等連携協定書の締結

1月13日(木) 東近江市健康福祉政策課との意見交換

災害時等連絡協定締結法人・事業所

・株式会社泉倉庫

いずみ介護サービスおがわデイサービス

・株式会社スイッチオンサービス

デイサービスセンタースイッチオン能登川

・社会福祉法人真寿会

・社会福祉法人恵泉会

菊水神郷デイサービスセンター



- ・医療法人瑞晴會  
ニコニコリハビリステーション
- ・有限会社東洋福祉会  
デイサービスセンター水車
- ・社会福祉法人東近江市社会福祉協議会  
小規模多機能型居宅介護事業所かじやの里の新兵衛さん  
デイサービスセンターちやがゆの郷

## 6. 在宅関連受託事業

### (1) 住居提供事業（永源寺事務所「ゆうあいの家」）【委託】

#### 【取り組み】

冬季（12月末～3月）の間おおむね65歳以上で一人暮らしなど生活に不安のある方の住まいとして、ゆうあいの家で受け入れを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策として管理人、事務所職員が管内の消毒、マスク着用、利用者や訪問者に検温や体調確認を徹底しました。

#### 【評価】

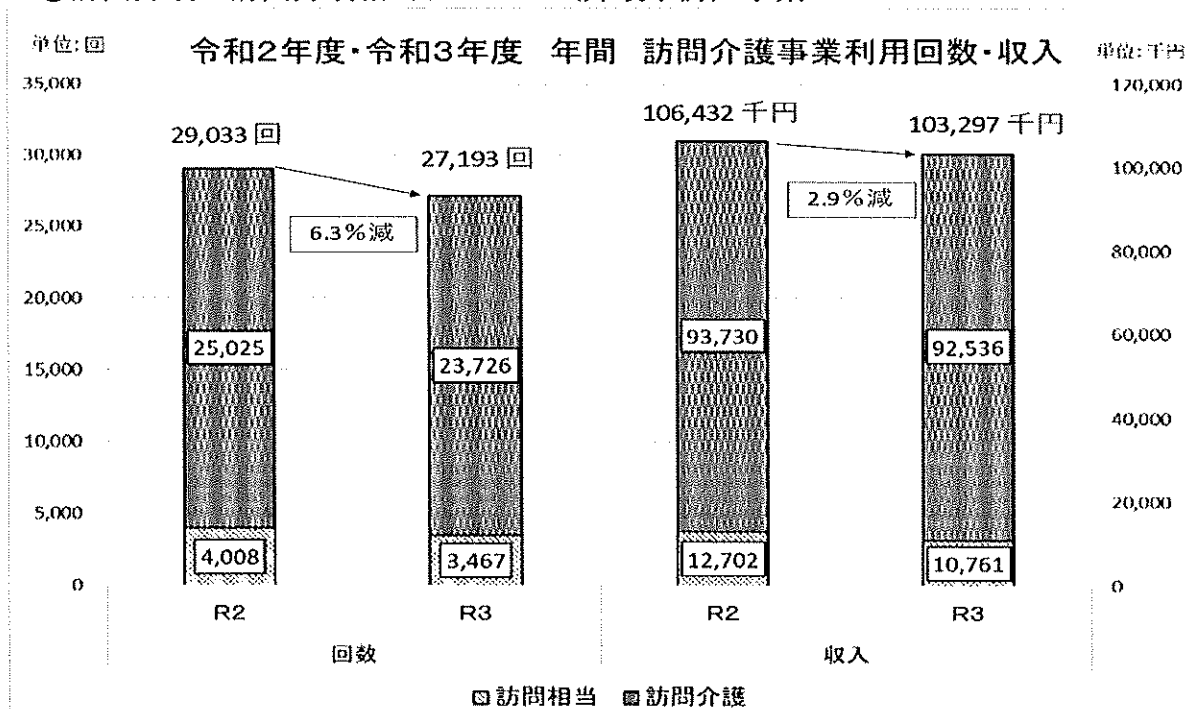
受け入れ人数：3人（要支援1：1人、要介護1：1人、障害支援区分3：1人）

今年度初めて知的障害のある方が入居されました。入居にあたり、相談支援専門員や利用されている作業所担当者と情報を共有しました。入居中のルールを理解されるか心配していましたが、初めにお伝えしたことをしっかり守り、安定した生活を送られました。

## 7. 各事業の利用回数（障がいヘルプ事業は時間）・収入

### (1) 訪問介護事業

#### ①訪問介護・訪問介護相当サービス（介護予防）事業



	ゆうあいの家	なごみ	せせらぎ	合計
実利用者数 令和3年度	93名	56名	119名	268名

【取り組み】

利用希望の多い時間帯の訪問体制の見直しを行いました。

【評価】

利用希望の多い時間帯の職員体制が取れない場合は、社協内3つの事業所で連携をとりケースの振り分けを行い対応を行いました。

【取り組み】

子育て世代が働きやすい勤務環境づくりに取り組みました。

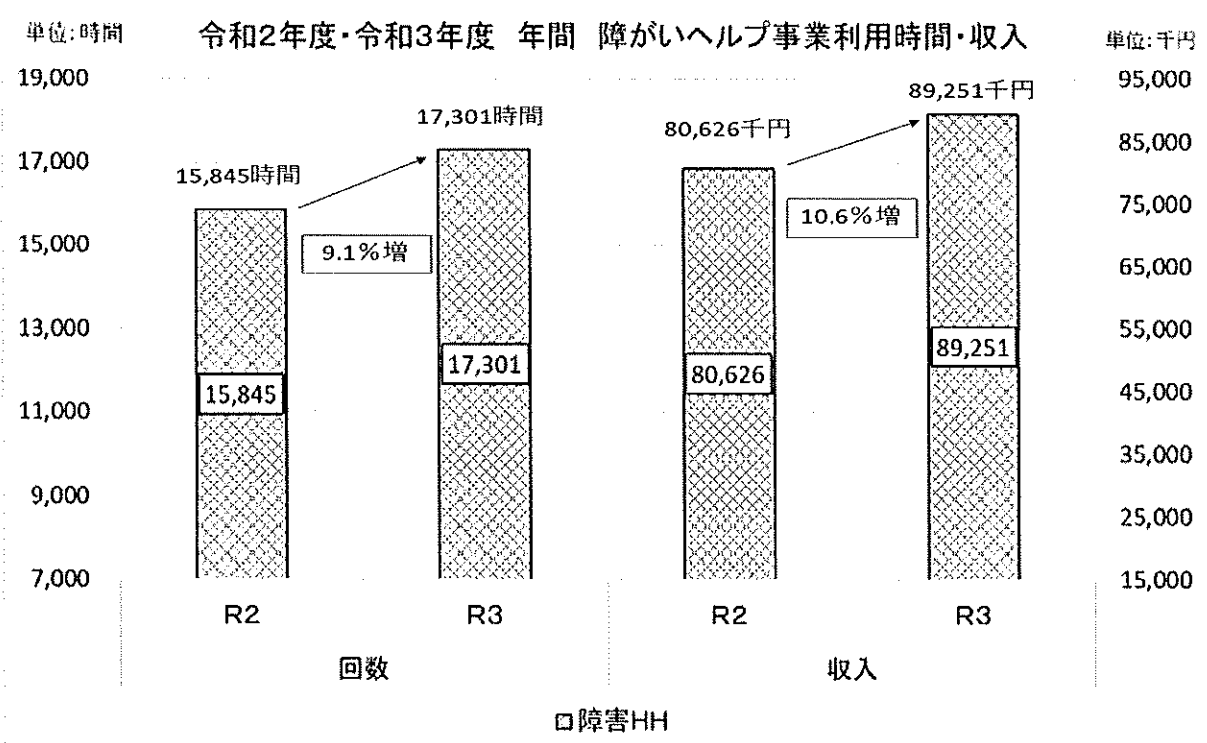
【評価】

介護職員の担い手不足が続いているため、入職された子育て世代の職員に対して働きやすい勤務時間を聞き取り、出勤時間や勤務曜日の調整を行いました。こうした取り組みをスタッフ募集のチラシに掲載し、求人を行いました。

しかし、身体的理由や家庭の事情により契約時間を減らす非常勤職員があったため、正規職員が時間外勤務で訪問することが常態化しています。できるだけ8時間勤務でシフトが組めるよう、新規利用者の受け入れを調整しています。



②居宅介護（障がいホームヘルパー）事業



	ゆうあいの家	なごみ	せせらぎ	合計
実利用者数 令和3年度	19名	36名	67名	122名

【取り組み】

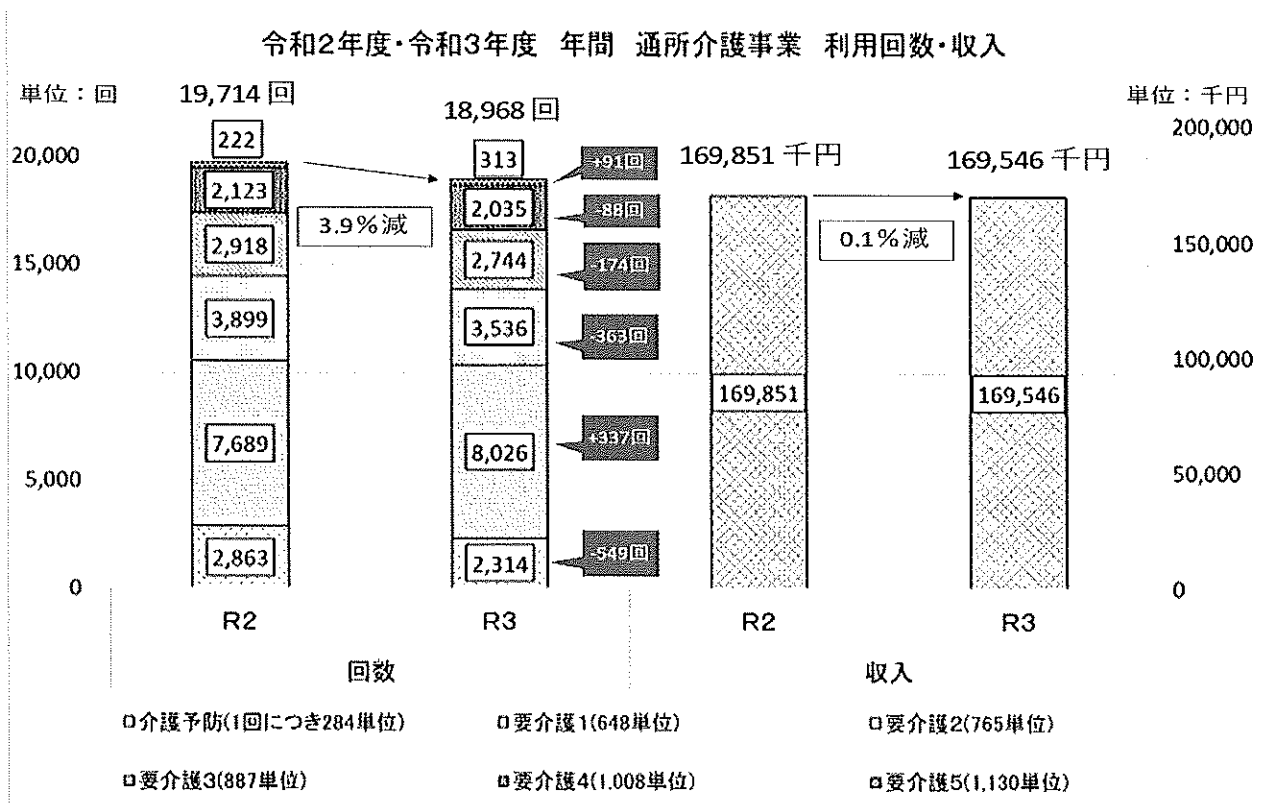
障がい特性や生活歴などの背景を理解した支援が行えるよう研修を受講するなど、支援方法の統一と共有を図りました。

【評価】

個別の障がい特性を理解するための研修に参加し、学んだことを職員全員で共有をしました。利用者個々への支援方法や慣れない対応にあたる職員については同行訪問を行い、支援方法の統一を図ることができました。

訪問介護員が積極的に知識や技術を習得することで、ご本人の不安を和らげ、在宅生活を継続したいというご希望に添うことができました。

③通所介護・予防通所介護事業



(単位: 円)

	ハートピア	ゆうあいの家	じゅびあ	あさひの	合計	なごみ
令和2年度実績額(円)	29,517,453	42,733,104	39,666,806	52,677,619	164,594,982	5,255,580
令和3年度実績額(円)	36,566,969	40,865,054	41,887,279	50,226,512	169,545,814	0
差額(円)	7,049,516	-1,868,050	2,220,473	-2,451,107	4,950,832	-5,255,580
令和3年度実利用者数	50名	72名	63名	73名	258名	0名

【取り組み】

利用者ニーズに合わせたサービス提供を行い、事業所活動の発信を行いました。

【評価】

コロナ禍において活動が制限される中、ご利用者に参加支援ができるようにご利用者の得意なことを聞き取り、事業所の取り組み内容に組み入れることができました。こうした活動を広報紙や Facebook などを通じて発信し、ご利用者が活動されている様子をご家族やケアマネジャーなどに広く周知することができました。

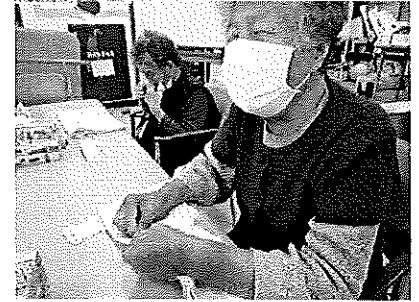
(幼稚園に手作りカレンダーのプレゼント)



(畑作業)

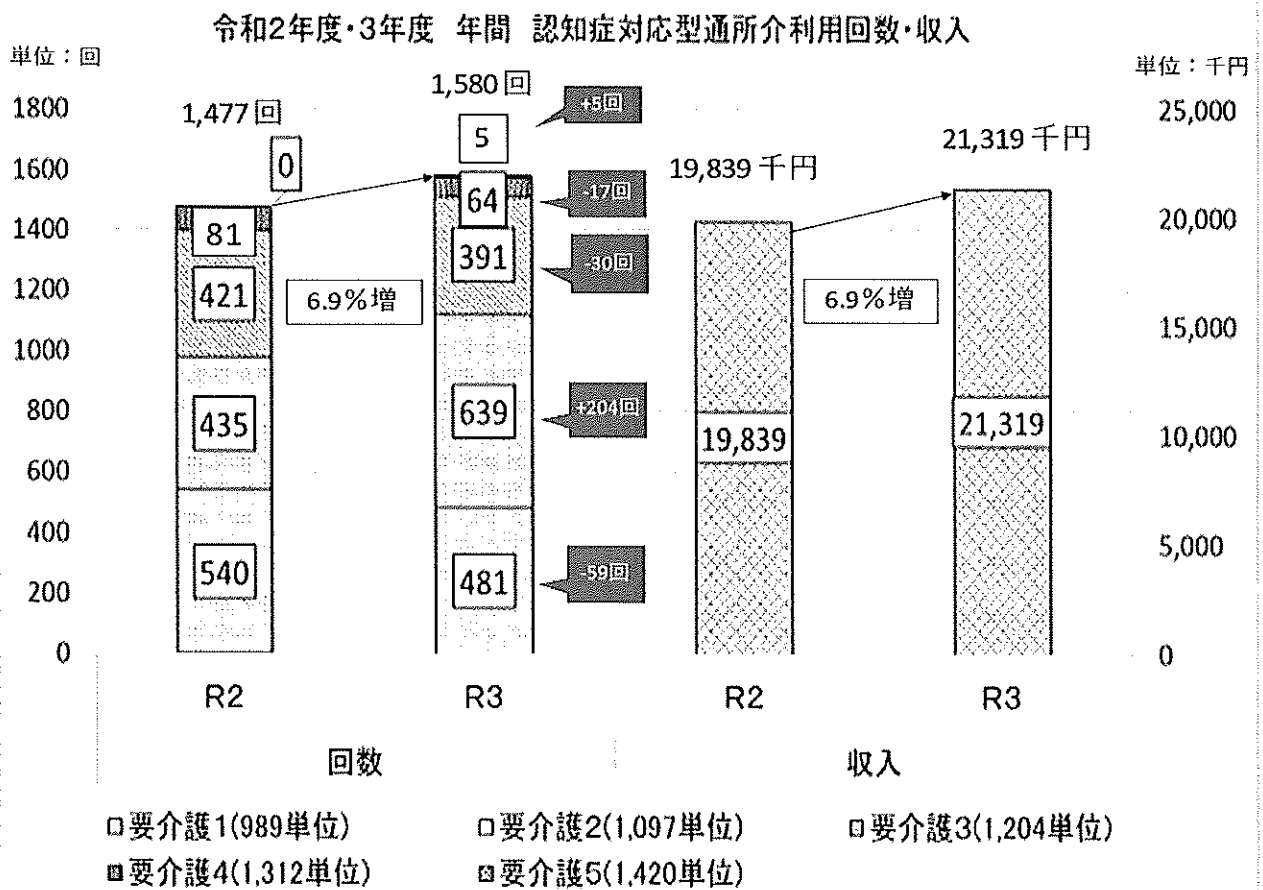


(雑巾縫い)



令和3年3月31日をもって、デイサービスセンターハートピア、デイサービスセンターじゅぴあの2事業所を閉所。

④認知症対応型通所介護事業 令和3年度実利用者数：18名





【取り組み】

地域における社会参加活動や地域住民との交流促進を図りました。

【評価】

事業所から少し離れたところに畑を借りたことをきっかけに、畑までの道中や畑で地域の方々との交流が出来るようになりました。また、避難訓練や認知症学習会の依頼など地域の方々と協力する体制ができ、地域の方に気軽に立ち寄っていただける事業所となりました。こうした取り組みもあり、これまでなかった地元乙女浜町の住民の方のご利用が、今年度初めて2名ありました。



(町内の散歩)

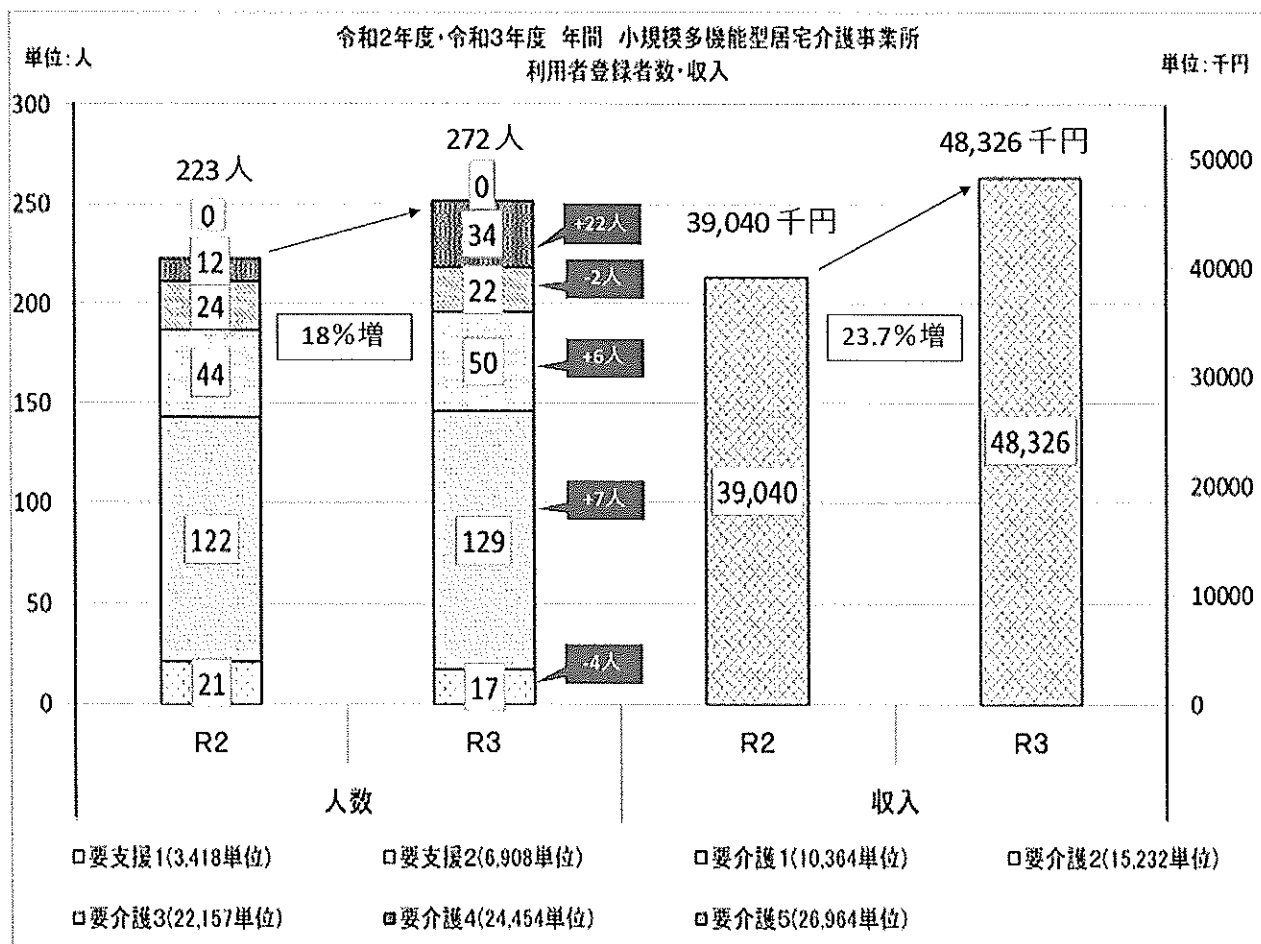


(事業所近隣の皆さんと避難訓練)



(自治会へ出向いての認知症学習会)

⑤小規模多機能型居宅介護（介護予防）事業 令和3年度実利用者数：27名



### 【取り組み】

お一人おひとりに合わせた個別支援の充実を図りました。

### 【評価】

認知症状による不安な気持ちや伝えたい言葉が出てないことからイライラされたり、身体的に周りの方とコミュニケーションがとりづらい方など、ご利用者それぞれの状況に寄り添った支援を行いました。ご本人の気持ちが和らぐよう庭でお話を聞いたり、場面に応じて声掛けをしたり静かに見守りをしながら、焦らず時間をかけて、安心して過ごせる居場所になることを目指した支援を行うことができました。



(庭で気分転換)



(近所を散歩)



(幼稚園との交流)